

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0201
評価年度 令和 3年度
所属 1601
事務事業番号 00301

進捗区分 評価完了
産業観光部商工労働政策課
計量事務等推進事業

所属長名 森口 誠人
記入者 大角 千夏

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	022	防犯力の向上と生活安全の推進				
取組の方向性	003	消費者トラブルへの対応				
事務事業	004	計量事務等推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	計量法、ガス事業法、電気用品安全法、家庭用品品質表示法					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>計量法の目的である適正な商取引や証明の実施による消費者利益の保護や経済活動の適正化に向け、計量器の定期検査及び立入検査を主体とした事務を実施している。同様に家庭用品品質表示法、電気用品安全法、ガス事業法にかかる立入検査等についても実施し、消費者保護と啓発に努めている。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>計量器の複雑化や販売形態の多様化が進む中、計量の正確性や信頼性の向上が求められているが、公共施設でも有効期限切れが発見されるなど、計量法の趣旨や内容が十分に理解されていない。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>本市の指定定期検査機関として、一般社団法人滋賀県計量協会を指定し、定期検査業務を委託している。また、公共施設が有する水道・ガスメーターの適切な設置についても計画的に検査を実施している。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	取引・証明に計量器を使用している事業者及び電気・ガス用品並びに家庭用品品質表示法に基づく商品を販売している事業者に対して
目的(何のために)	消費者利益の保護と経済活動の適正化を図るため
手段(どのようなやり方で)	計量器の定期検査や立入検査（随時）、電気・ガス用品並びに家庭用品の立入検査及び啓発活動を実施し、
成果(どのような状態にするのか)	適正計量の実施により適合商品が販売されるようにするとともに計量法の普及啓発を推進する

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,959	6,711	7,933	6,968	7,898	6,893	7,898
事業費	1,397	706	1,928	963	1,893	888	1,893
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	7	0	7	7	7	7	7
一般財源	1,390	706	1,921	956	1,886	881	1,886
人件費計	6,562	6,005	6,005	6,005	6,005	6,005	6,005
事務・技術(人)	0.22	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0201
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 事務事業番号 00301 計量事務等推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-05-10-51-00-01-00	計量事務等推進事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 立入検査店舗数	件	300.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	
		118.00	129.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) 定期検査受検率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		96.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 立入検査適正率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		92.40	99.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 定期検査合格率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		97.40	98.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	特定市移行(H13.4)により市が実施しなければならない。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	事業者への周知、指導、新規事業者の把握を行っている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	定期検査は委託し、立入検査も計画的に実施している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	法令に基づく重要な事業であり、消費者保護に寄与する。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	対面的な立入検査の実施や対象となる事業所や計量器の把握、計量法の普及啓発の取り組みを充実していくため、さらなる職員の育成に取り組んでいく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	適正な立入検査の実施、対象事業所及び計量器の適切な把握、計量法の周知啓発に努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1601 産業観光部商工労働政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00301 計量事務等推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)立入検査店舗数	件	300.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
	指標説明	118.00	129.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		大型店舗、ガソリンスタンド、プロパン販売店、質量計使用事業者、公共施設						
(活動)定期検査受検率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	96.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		検査受検台数 / 検査対象台数						
(成果)立入検査適正率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	92.40	99.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		適正件数 / 立入検査件数						
(成果)定期検査合格率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	97.40	98.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		検査合格台数 / 検査受検台数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0202
評価年度 令和 3年度
所属 1601
事務事業番号 00705

進捗区分 評価完了
産業観光部商工労働政策課
商店街基盤整備事業

所属長名 森口 誠人
記入者 栗山 誠司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	028	商工業の振興				
取組の方向性	002	地域産業の承継				
事務事業	005	商店街基盤整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市補助金等交付規則及び要綱					
事業概要	<p>(事業概要) 商店街が実施する共同施設の設置や修繕等の事業に対して補助金を交付することにより、商店街の環境整備や美化を図り消費者の誘客と商店街の活性化を図っている。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 商店主の高齢化や後継者不足から商店街の会員数が減少し、施設の維持管理費は年々重くなっている。また、商店街の施設整備に関する国の補助制度は、インバウンドや観光需要を取り込む環境整備に限定されている。 (見直しや改善等の経過) 平成18年度に市街灯の一元管理に伴う商店街灯の引取り基準を定め、電力料補助の見直しを実施。平成24年度に商店街灯のLED化推進補助制度を創設したが、令和3年度末に電力料補助及びLED化推進補助は廃止された。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	商店街振興組合、任意の商業団体等を対象に
目的(何のために)	買い物環境の快適性・安全性の確保、商店街のイメージアップを図るため
手段(どのようなやり方で)	事業費に対する補助金を交付し、
成果(どのような状態にするのか)	地域商業の振興と市民の消費生活を支える魅力的な商業環境を整備し、域内消費の増加及び商店街の振興を通じて地域の活性化を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,625	5,070	12,252	7,360	7,360	7,360	7,360
事業費	139	3,617	10,892	6,000	6,000	6,000	6,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	1,278	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3,470	8,335	0	0	0	0
一般財源	139	147	1,279	6,000	6,000	6,000	6,000
人件費計	1,486	1,453	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360
事務・技術(人)	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0202
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 事務事業番号 00705 商店街基盤整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-05-10-41-00-21-00	商店街基盤整備事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 補助金額	千円	150.00	3,703.00	10,892.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	
		139.00	3,618.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 施設整備数	個所	1.00	1.00	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	安全快適な買物環境の確保とまちづくりに寄与している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	高額事業に対する補助により、商店街の負担軽減が図られている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	商店街が主体的かつ計画的に環境改善に取り組める。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	商店街の環境改善とまちづくりに寄与している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	商店街の共同施設の老朽化に対し、公共性の高い施設整備への補助による支援を継続し、商店街の環境改善を促進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	商店街の環境改善を図る上で基盤施設の整備は必要な要素の一つであり、今後も商店街が主体的かつ意欲的に取り組む事業に対して支援していくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00705 商店街基盤整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 補助金額	千円	150.00	3,703.00	10,892.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00
	指標説明	139.00	3,618.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		設置は 1 / 2 以内、修繕は 1 / 3 以内						
(成果) 施設整備数	個所	1.00	1.00	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	指標説明	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		共同施設の整備及び改修済数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0203
 評価年度 令和 3年度
 所属 1601
 事務事業番号 00706

進捗区分 評価完了
 産業観光部商工労働政策課
 商工会議所・商工会活動基盤強化事業

所属長名 森口 誠人
 記入者 大角 千夏

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	028	商工業の振興				
取組の方向性	002	地域産業の承継				
事務事業	006	商工会議所・商工会活動基盤強化事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市補助金等交付規則 他					
事業概要	(事業概要) 地域商工業の振興と地域経済の発展を目的とし、法に基づき設立された市内商工会議所及び商工会に対してその事業費の一部を補助することにより、各団体の組織基盤の強化と円滑な事業の促進を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 新型コロナウイルス感染症の影響による市内経済の縮小に伴い、市内の小規模事業者が非常に厳しい経営状態にある中、伴走支援を中心とした事業者支援に取り組まれている。 (見直しや改善等の経過) これまでの取り組み以上にマンパワーを要する伴走支援を重点的に取り組まれている中、補助金の上限設定を見直すことで、より交付目的に沿うよう交付基準を改正した。また、経営指導・相談業務の記録をより明確にする等の指導を行った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津商工会議所・大津北商工会・瀬田商工会を対象に
目的(何のために)	地域商工業の振興と地域経済の発展を図るため
手段(どのようなやり方で)	事業費の一部に対して補助金を交付し
成果(どのような状態にするのか)	各団体の組織基盤を強化するとともに、円滑な事業の運営を促進する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	27,389	23,371	29,158	30,473	30,473	30,473	30,473
事業費	24,109	20,971	26,758	28,073	28,073	28,073	28,073
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	24,109	20,971	26,758	28,073	28,073	28,073	28,073
人件費計	3,280	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
事務・技術(人)	0.40	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

608 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0203
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 事務事業番号 00706 商工会議所・商工会活動基盤強化事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-05-10-31-00-01-00	商工会議所・商工会活動基盤強化事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 補助金額	千円	26,267.00	27,432.00	26,758.00	28,073.00	28,073.00	28,073.00	28,073.00	
		24,109.00	20,971.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 指導回数	回	12,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	
		11,012.00	10,420.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由		事業者に精通した団体への財政支援が商工業の発展に必要である。	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由		補助金により組織基盤の強化と商工業の振興に寄与している。	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由		補助制度が商工団体の主体的・計画的な取り組みに寄与している。	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由		事業者の経営改善が商工業の振興に寄与している。	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	当該補助金は、市内産業を下支えしている小規模事業者への指導と経営支援を促進するための補助として運用しており、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小規模事業者を中心に、市内事業者への経営支援の促進に取り組む。また、補助対象事業を整理し、経営指導・相談業務の記録をより明確にする等の指導を引き続き行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市内中小企業の経営安定化や地域経済の活性化に資する取組に対し支援していくとともに、補助金の適正運用を図るための検査や指導を行うこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1601 産業観光部商工労働政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00706 商工会議所・商工会活動基盤強化事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)補助金額	千円	26,267.00	27,432.00	26,758.00	28,073.00	28,073.00	28,073.00	28,073.00
	指標説明	補助金の交付金額						
(成果)指導回数	回	12,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00
	指標説明	経営指導員による巡回・窓口指導回数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0204
 評価年度 令和 3年度
 所属 1601
 事務事業番号 00707

進捗区分 評価完了
 産業観光部商工労働政策課
 中小商業団体活動基盤強化事業

所属長名 森口 誠人
 記入者 栗山 誠司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	028	商工業の振興				
取組の方向性	002	地域産業の承継				
事務事業	007	中小商業団体活動基盤強化事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市補助金等交付規則及び交付基準					
事業概要	(事業概要) 事業の円滑実施と組織基盤の強化を図ることを目的に、全市的な商店街組織である一般社団法人大津市商店街連盟が商店街振興を図るために実施する事業経費に対して補助金を交付する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 消費者ニーズの多様化、商業環境の変化等に加え、近年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあって、地域商店街の会員は減少傾向にあり、団体に加盟している商店街の経営状況も厳しい状態が続いている。 (見直しや改善等の経過) 平成17年度に補助率を3/4から2/3に、補助制度適正化基本方針に基づき平成27年度に補助率を3/5、平成28年度に1/2にそれぞれ見直した。また、平成30年度に補助対象経費を見直した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	一般社団法人大津市商店街連盟を対象に
目的(何のために)	一般社団法人大津市商店街連盟の事業の円滑な推進により、地域商店街の振興を図るため
手段(どのようなやり方で)	商店街の振興を図るための事業経費に対する補助金を交付し、
成果(どのような状態にするのか)	商店街組織の安定と基盤強化を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,996	2,953	3,260	3,260	3,260	3,260	3,260
事業費	1,100	1,100	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,100	1,100	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
人件費計	1,896	1,853	1,760	1,760	1,760	1,760	1,760
事務・技術(人)	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0204
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 事務事業番号 00707 中小商業団体活動基盤強化事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-05-10-31-00-04-00	中小商業団体活動基盤強化事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)補助金額	千円	1,100.00	1,100.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	
		1,100.00	1,100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)連盟加盟会員数	人	550.00	500.00	460.00	460.00	460.00	460.00	460.00	
		457.00	456.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	大津市商店街連盟は市内商店街の魅力ある商品やサービス提供等の情報を取りまとめて、情報を発信し、会員への研修事業を通じ地域特性を活かした各商店街づくりを促進するよう取り組んでおり、財政的支援は重要であるが、会員数の減少等の課題があり、市内商店街のニーズに応じた取組が推進されるよう働きかけていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	商店街連盟が自らの創意工夫によって実施する事業が、各商店街のニーズに対応し、特色ある商店街づくりにつながるよう働きかけていくこと。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0205
評価年度 令和 3年度
所属 1601
事務事業番号 00708

進捗区分 評価完了
産業観光部商工労働政策課
商店街活き活き対策事業

所属長名 森口 誠人
記入者 栗山 誠司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	028	商工業の振興				
取組の方向性	002	地域産業の承継				
事務事業	008	商店街活き活き対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市補助金等交付規則及び要綱					

事業概要	<p>(事業概要) 消費者ニーズの多様化等、商店街を取り巻く環境の変化に対応するため、地域商店街が策定する地域特性を活かした活性化計画に基づき商店街が実施する自主的かつ意欲的な事業活動や新たに起業や創業をされる方への支援を行い、商店街と地域の活性化を図る。</p>				
------	--	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 市内各商店街においては、店主の高齢化や後継者不足、ネット通販の普及や大型商業施設等の台頭等により、徐々に店舗数が減少している。さらには、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により不要不急の外出が自粛されることとなり、集客イベントも延期・中止となるなど、大変厳しい環境が続いている。 (見直しや改善等の経過) 事業レビューの結果、活き活き対策事業及び空き店舗再生支援事業について見直し、商業地魅力アップ支援事業補助金制度を創設。商店街自らが活性化計画を策定し、その計画に基づいた取り組みを支援する制度とした。</p>				
----------------------	---	--	--	--	--

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	商店街振興組合、任意の商業団体等を対象に
目的(何のために)	活性化事業への商店街自らの取り組み意欲の増進と活性化事業の効果的かつ円滑な推進による商店街の振興を図るため
手段(どのようなやり方で)	商店街が策定した活性化計画に基づき実施する他団体との連携事業や当該計画に基づき商店街内の空き店舗に出店する者に補助金を交付し、
成果(どのような状態にするのか)	商店街の賑わいに寄与する意欲的で積極的な事業実施や空き店舗への出店により、商店街と地域の活性化を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,245	6,357	11,100	14,000	14,000	14,000	14,000
事業費	1,304	1,082	3,100	6,000	6,000	6,000	6,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	132	250	1,500	1,500	1,500	1,500
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,304	950	2,850	4,500	4,500	4,500	4,500
人件費計	2,941	5,275	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
事務・技術(人)	0.34	0.64	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0205
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 事務事業番号 00708 商店街活き活き対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-05-10-41-00-13-00	商店街活き活き対策事業費	産業観光部商工労働政策課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)補助金額	千円	2,050.00	2,050.00	3,100.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	
		21.00	1,082.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)実施団体数	団体	7.00	7.00	7.00	12.00	12.00	12.00	12.00	
		7.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)商店街活性化計画策定団体数	団体	2.00	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		1.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	各商店街の自主的な事業実施につながっている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	商店街の意欲的な事業実施を促している。空き店舗の出店が課題。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	商店街が目標意識を持って商店街づくりに取り組んでいる。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	商店街の活性化や賑わい創出につながっている。		
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本市の中小企業・小規模企業振興の推進施策の一つに商店街の活性化、地域社会に密着した商店街のにぎわい創出が掲げられているところであるが、補助制度開始後において「商店街活性化計画策定支援事業補助金」及び「起業・創業促進新規出店支援事業補助金」の活用実績がなく、「連携等支援事業補助金」については地域の他団体との連携事業が促され、商店街の活性化に一定の効果があるものの、補助率の関係から2年目以降の事業が大幅な規模縮小となるため、商店街の賑わい創出に繋がっていないとの声がある。 当補助事業については、令和4年度をもって終期を迎えるため、商店街へのヒアリング等を通して実態把握に努めるとともに、効果的な補助制度となるように調査研究を進める。		

【部局評価結果】			
総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	商店街の将来の姿を見据えた計画づくりを通じて次世代経営者を引き込む中で、商店街の活性化や賑わいづくりに向けた事業が展開されるように働きかけていくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00708 商店街活き活き対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)補助金額	千円	2,050.00	2,050.00	3,100.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00
	指標説明	21.00	1,082.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		魅力アップ支援事業 計画策定 1 / 2、連携支援 1 / 2 (1年目) 1 / 3 (2年目)、改装費 1 / 5、家賃 1 / 3 以内補助						
(成果)実施団体数	団体	7.00	7.00	7.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	指標説明	7.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		事業（連携等支援事業補助金）を実施した団体数、店舗数（令和 2年度は旧制度含む。以降新制度のみ）						
(成果)商店街活性化計画策定団体数	団体	2.00	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	指標説明	1.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		商店街活性化計画を策定している商店街数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0206
評価年度 令和 3年度
所属 1601
事務事業番号 00713

進捗区分 評価完了
産業観光部商工労働政策課
産学官ネットワーク事業

所属長名 森口 誠人
記入者 岩本 久瑠実

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	028	商工業の振興				
取組の方向性	001	新産業の創出、起業支援				
事務事業	002	産学官ネットワーク事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市企業立地促進条例					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>地域内企業の事業高度化と産業集積を図るため、大学や支援機関等の知的資源が集積する優位性を最大限に活かした産学官連携により、主に重点4分野（高度モノづくり、環境、医療・健康福祉、IT）の企業を中心に、地域ビジネス支援室の支援、産業化支援コーディネーターの派遣、インキュベーション施設賃料補助、女性起業家支援事業等を実施している。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>政府の経済活性化施策により、中小企業・ベンチャー企業が国の補助金等を活用して新規事業や事業の高度化に取り組む機会が増えてきている。また、事業承継や女性活躍に関する取組についても充実が図られている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>産業化支援コーディネーターに加え、平成26年度に地域ビジネス支援室を新設し、中小企業に対する支援を強化するとともに、産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を受けた。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	主に製造業を営む中小企業及びベンチャー企業や女性起業家（今後、起業を予定している女性を含む）を対象に
目的(何のために)	大学や支援機関等の知的資源が集積する優位性を活かし、産学官連携による中小企業の事業高度化と産業集積、女性起業家の発掘から育成を図るため
手段(どのようなやり方で)	地域ビジネス支援室の相談支援及び産業化支援コーディネーター派遣、インキュベーション施設賃料補助、ビジネスマッチングサイト、女性起業家の経営スクール等で
成果(どのような状態にするのか)	産学官連携による産業集積のための支援基盤となるネットワークの形成、中小企業に対する事業高度化や共同研究等の支援、ベンチャー企業の育成と市内への定着、女性起業家の発掘及び育成を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,728	13,999	15,302	17,609	18,092	18,167	18,213
事業費	5,716	5,839	7,142	9,449	9,932	10,007	10,053
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	500	475	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	500	475	400	400	400	400	400
一般財源	4,716	4,889	6,742	9,049	9,532	9,607	9,653
人件費計	9,012	8,160	8,160	8,160	8,160	8,160	8,160
事務・技術(人)	0.50	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

617 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0206
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 事務事業番号 00713 産学官ネットワーク事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-05-10-61-00-15-00	産学官ネットワーク推進事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) インキュベーション施設賃料補助事業者数	社	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
		10.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) コーディネーター事業所派遣数	回	90.00	90.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		79.00	93.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 大学との共同研究件数	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		2.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 大学発創業事業所数	件	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	連携を図り、実施できている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	共同件数は増加しているが、創業事業所数は低調となっている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	コーディネーター派遣が必要な事業者に効率的に実施できている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	目標達成に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	地域ビジネス支援室や産業化支援コーディネーターによる事業高度化をはじめとした市内事業者への経営支援や起業・創業支援においては、専門的人材の的確な助言により事業者の意欲を引き出し、更なるブラッシュアップができるよう取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	産学官連携による共同研究やインキュベーション施設を活用した企業の育成と市内定着、女性起業家の発掘などに取り組んできているが、事業化及びその定着を後押しして強化するために、地域ビジネス支援室や産業化コーディネーター派遣事業等による支援活動を強化すること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00713 産学官ネットワーク事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) インキュベーション施設賃料補助事業者数	社	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
	指標説明	10.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		大津・草津地域の大学インキュベーション施設において賃料補助を受けている事業者数						
(活動) コーディネーター事業所派遣数	回	90.00	90.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	79.00	93.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		事業所へのコーディネーター派遣数						
(成果) 大学との共同研究件数	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	指標説明	2.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		大津・草津地域の大学と市内企業との共同研究件数						
(成果) 大学発創業事業所数	件	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	指標説明	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		大学インキュベーション施設から市内への創業事業所数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0207
評価年度 令和 3年度
所属 1601
事務事業番号 00715

進捗区分 評価完了
産業観光部商工労働政策課
企業立地活性化事業

所属長名 森口 誠人
記入者 田中 美帆

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	028	商工業の振興				
取組の方向性	001	新産業の創出、起業支援				
事務事業	001	企業立地活性化事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市企業立地促進条例					
事業概要	<p>(事業概要) 民間企業が造成した工業団地などに市外からの企業誘致を推進するとともに、既存企業の新規設備投資等を誘導するため、インセンティブとなる「大津市企業立地促進条例」に基づく助成制度を有効に活用し、地域経済の活性化を図る。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 令和3年度工場立地動向調査によると、県内における企業の立地件数は前年より増加し、工場敷地面積についても前年より増加した。 (見直しや改善等の経過) 企業の撤退に伴う助成金対策として、10年間の操業努力義務を設けて、撤退に伴う助成金の返還について条例に明文化した。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市外からの誘致企業、既存企業、育成したベンチャー企業等に対し
目的(何のために)	市内への企業誘致及び既存立地企業の新規設備投資等を図るため
手段(どのようなやり方で)	企業立地促進助成制度を活用して
成果(どのような状態にするのか)	市外からの企業誘致と既存企業の新規設備投資等により、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	209,721	139,084	134,049	125,123	111,227	154,791	155,702
事業費	203,653	131,884	126,849	117,923	104,027	147,591	148,502
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	203,653	131,884	126,849	117,923	104,027	147,591	148,502
人件費計	6,068	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
事務・技術(人)	0.74	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

620 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0207
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 事務事業番号 00715 企業立地活性化事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-05-10-61-00-16-00	企業立地活性化事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)補助金交付件数	件	33.00	33.00	33.00	33.00	33.00	33.00	33.00	
		26.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)企業の事務所開設数及び工場等新增築数	件	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	
		1.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	企業立地促進条例に基づく助成制度や工場立地法に基づく緑地面積率等の緩和により企業誘致と既存企業の設備投資を促してきた。民間事業者により整備された滋賀大津工業団地の完売後、企業立地のためのまとまった種地がなくなっていたが、新たに大津CC跡地を紹介できることとなったことから、当該地への企業誘致に向け、企業ニーズ調査や訪問、土地の情報発信等積極的に事業を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	立地企業の新規設備投資の促進に取り組むとともに、企業誘致のための種地の確保と誘致に向けたニーズ調査やインセンティブについて検討を行うこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00715 企業立地活性化事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)補助金交付件数	件	33.00	33.00	33.00	33.00	33.00	33.00	33.00
		26.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明	企業立地促進助成金の交付件数							
(成果)企業の事務所開設数及び工場等新增築数	件	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
		1.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明	実際に事務所及び工場等を増築された件数							

事務事業評価シート（1/2）

622 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0208
 評価年度 令和 3年度
 所属 1601
 事務事業番号 00858

進捗区分 評価完了
 所属長名 森口 誠人
 記入者 木戸地 泰孝

産業観光部商工労働政策課
 雇用対策事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	030	就労支援と働き方の見直し				
取組の方向性	001	就労の確保				
事務事業	001	雇用対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等						
事業概要	(事業概要) 大津公共職業安定所と連携した移動労働相談の実施、学生及び44歳以下の若者を対象とした学生就職面接会や年齢制限なしの就職面接会の開催、その他雇用機会の創出を図る事業の実施により、企業の雇用確保と求職者の就労を支援する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 新型コロナウイルス感染症の拡大により、有効求人倍率が1.0を下回るなど雇用環境が悪化していたが持ち直しが見られる。 (見直しや改善等の経過) 移動労働相談は実績を踏まえ、平成30年度より実施場所や回数の見直しを行っている。学生就職面接会は、対象者を44歳以下の若者に広げ、その他年齢を制限しない就職面接会も実施するようにした。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	就労を希望するすべての者や新規学卒者と44歳以下の若者等に対し、
目的(何のために)	求職者の生活基盤となる就労安定や将来を担う若者の就労及び市内定住、求人側である中小企業の優秀な人材の確保のために
手段(どのようなやり方で)	市内11ヶ所の移動労働相談場所の開設や必要に応じた庁内関係課との協議を実施するとともに、関係機関との連携により学生を含む就職面接会を実施
成果(どのような状態にするのか)	就職を希望する方が自立し、安定した生活を営むことができる。若者の市内企業への就職を支援することにより市内定住を促進し、地域の活性化や地元企業の経営基盤の安定に繋げる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,719	9,249	12,206	12,706	12,706	10,706	10,706
事業費	552	2,126	5,083	5,583	5,583	3,583	3,583
国庫支出金	0	1,500	4,500	1,500	1,500	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	552	626	200	200	200	200	200
一般財源	0	0	383	3,883	3,883	3,383	3,383
人件費計	6,167	7,123	7,123	7,123	7,123	7,123	7,123
事務・技術(人)	0.49	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.70	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0208
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 事務事業番号 00858 雇用対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-25-05-05-33-00-01-00	雇用対策事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)職業相談件数	人	120.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	
		38.00	27.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)就職面接会参加事業所数	社	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	
		0.00	38.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)職業紹介率	%	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00	
		542.00	507.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)就職面接会等企业応募人数	人	500.00	330.00	330.00	330.00	330.00	330.00	330.00	
		152.00	175.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	7月に学生就職面接会、11月、1月に年齢制限なしの就職面接会を開催し、数名の採用に至っている。1月の就職面接会では、人材確保に苦しむ介護業界を支援するため、特に介護分野の事業所に多く参加いただいている。雇用情勢に持ち直しがみられるものの、中小企業の多くが雇用の確保を課題としているため、雇用、就労の両面から支援していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	アフターコロナにおける社会経済文化活動の再開により企業活動の回復に併せて人手不足が高まることが見込まれることから、多様な年代層における雇用対策について様々な視点から検討すること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00858 雇用対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 職業相談件数	人	120.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
	指標説明	38.00	27.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		巡回地で受けた職業相談の件数						
(活動) 就職面接会参加事業所数	社	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
	指標説明	0.00	38.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		学生就職面接会への参加事業所数						
(成果) 職業紹介率	%	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00
	指標説明	542.00	507.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		職業紹介件数/職業相談件数						
(成果) 就職面接会等企業応募人数	人	500.00	330.00	330.00	330.00	330.00	330.00	330.00
	指標説明	152.00	175.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		企業と面接を行った人数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0209
 評価年度 令和 3年度
 所属 1601
 事務事業番号 00859

進捗区分 評価完了
 産業観光部商工労働政策課
 企業内人権啓発推進事業

所属長名 森口 誠人
 記入者 木戸地 泰孝

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	030	就労支援と働き方の見直し				
取組の方向性	002	ワーク・ライフ・バランスの充実と働き方改革の推進				
事務事業	001	企業内人権啓発推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	事業所内公正採用選考・人権啓発推進班設置要綱					
事業概要	(事業概要) 基本的人権を尊重し差別のない明るい職場を築き、企業内の人権意識の高揚を図り、企業の果たす役割を認識してもらうため、年1回企業訪問を行い広く啓発活動の推進を図り、更に事業主及び窓口担当者に対する人権啓発指導者研修会を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会には様々な人権課題があり、人権意識を高めていくための取組みが一層重要になってきている。 (見直しや改善等の経過) 企業訪問については、平成26年度より隔年訪問制度を導入し効率化を図った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内の従業員20人以上の企業を対象
目的(何のために)	企業が基本的人権を尊重し、公正で公平な職場作りが図られるため
手段(どのようなやり方で)	企業への個別訪問や事業主、人権啓発担当者を対象に研修会を実施
成果(どのような状態にするのか)	企業が広く人権問題全般について、正しい理解と認識を深め、公平公正な採用選考システムの確立と明るくよりよい職場環境をつくる

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,486	3,812	3,871	3,901	3,901	3,901	3,901
事業費	129	149	208	238	238	238	238
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	20	46	46	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	109	103	162	238	238	238	238
人件費計	2,357	3,663	3,663	3,663	3,663	3,663	3,663
事務・技術(人)	0.25	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.10	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

626 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0209
評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1601 産業観光部商工労働政策課
事務事業番号 00859 企業内人権啓発推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-25-05-05-33-00-03-00	企業内人権啓発推進事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)企業訪問(調査)件数	件	330.00	330.00	330.00	330.00	330.00	330.00	330.00	
		409.00	379.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)研修会参加企業数	件	370.00	330.00	330.00	330.00	330.00	330.00	330.00	
		167.00	182.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)各企業での研修会開催件数	回	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	
		639.00	759.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)各企業での研修会参加人数	人	30,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	
		21,333.00	45,354.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	企業訪問による啓発は隔年訪問や研修会を活用した取り組みにより重点化が進みつつあったが、令和2年度及び令和3年度は、コロナ禍のため、原則、郵送や電話での啓発となった。企業による研修会の開催件数や参加人数は増加しており、引き続き事業者に向けた啓発と研修に係る情報提供に取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	企業において公正な採用が確立され、さらにハラスメントの無い職場づくりが推進されることは重要であり、引き続き人権啓発研修や企業訪問による啓発を進めていくこと。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0210
 評価年度 令和 3年度
 所属 1601
 事務事業番号 00863

進捗区分 評価完了
 産業観光部商工労働政策課
 勤労福祉センター管理運営事業

所属長名 森口 誠人
 記入者 木戸地 泰孝

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	030	就労支援と働き方の見直し				
取組の方向性	001	就労の確保				
事務事業	003	勤労福祉センター管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市勤労福祉センター条例					
事業概要	(事業概要) 市内で働く人々に余暇活用の充実及び研修、スポーツ活動の場の提供を図り、勤労者の福祉の増進及び文化教養の向上と健康推進を図るため、勤労福祉センターの管理運営を行う。なお、平成22年度より指定管理者制度を導入し、広く一般に施設を開放するなど利用者へのサービス向上に努めている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会環境の変化や民間施設の充実により、当施設の利活用は今後の課題である。 (見直しや改善等の経過) 平成29年度の指定管理者の選定において、広く民間のノウハウを活かし多くの市民に利用される施設運営としていくため、公募方式により指定管理者を募集した。施設が老朽化しており、今後、施設のあり方について検討していく。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内在住・在勤の勤労者及びその家族
目的(何のために)	勤労者の福祉の増進及び文化教養の向上と健康推進を図るため
手段(どのようなやり方で)	会議、研修、サークル活動及びスポーツ交流の場としての施設の提供と、勤労者とその家族のための各種講座を開設
成果(どのような状態にするのか)	勤労者の交流と余暇活用の充実・健康推進を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	31,407	28,747	32,777	52,833	33,852	33,734	10,226
事業費	28,783	25,637	29,667	49,723	30,742	30,624	7,116
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	100	0	0	0	0
一般財源	28,783	25,637	29,567	49,723	30,742	30,624	7,116
人件費計	2,624	3,110	3,110	3,110	3,110	3,110	3,110
事務・技術(人)	0.32	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0210
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 事務事業番号 00863 勤労福祉センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-25-05-10-49-00-01-00	勤労福祉センター管理運営事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)年間利用者数	人	106,000.00	106,000.00	106,000.00	106,000.00	106,000.00	106,000.00	106,000.00
		73,948.00	85,950.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)講座開催数	回	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		256.00	365.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用者増加率	%	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		△43.80	16.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)受講率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		96.00	93.97	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	指定管理者による施設管理により適切な管理運営が実施できている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	利用者数は増加し受講率は90%を超えるなど有効である。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	指定管理者の公募選定により市民サービスの向上につながっている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	施設利用者へのサービス向上が勤労者福祉の向上につながっている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	利用率の低い貸室があることから、指定管理者による提案事項や自主事業の成果、さらには日常サービスの向上についてモニタリングをしていく。一方、施設の老朽化が進み、また施設の目的と利用実態が曖昧になっているため、今後施設そのもののあり方について検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	勤労者の利用促進を図るとともに、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、利用者の安全を確保しながら運営を行うこと。また、次期指定管理期間において施設のあり方を検討すること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00863 勤労福祉センター管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 年間利用者数	人	106,000.00	106,000.00	106,000.00	106,000.00	106,000.00	106,000.00	106,000.00
	指標説明	73,948.00	85,950.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
センターの年間利用者数								
(活動) 講座開催数	回	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
	指標説明	256.00	365.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
58回（センター講座）、3回（ホーム講座）、9回（自主事業講座）								
(成果) 利用者増加率	%	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	指標説明	△43.80	16.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
対前年に対する利用者の増加率								
(成果) 受講率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
	指標説明	96.00	93.97	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
対定員割合 受講者数÷定員数								
861/900								

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0211
 評価年度 令和 3年度
 所属 1601
 事務事業番号 00866
 進捗区分 評価完了
 産業観光部商工労働政策課
 労働者福祉対策事業

所属長名 森口 誠人
 記入者 木戸地 泰孝

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	030	就労支援と働き方の見直し				
取組の方向性	002	ワーク・ライフ・バランスの充実と働き方改革の推進				
事務事業	002	労働者福祉対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市補助金交付規則と要綱					

事業概要
 (事業概要)
 ①従業員が働きながら子を養育することを容易にするために、社内の環境整備に積極的に取り組み、成果を上げている企業等から取り組み事例を募集し表彰することで、育児休業や育児休暇を取得しやすい社会環境の創出を図る。②中小企業退職金共済制度及び特定退職金共済団体が行う退職金共済制度への加入促進を図り、その掛金の一部を補助することで、事業主の負担を軽減し従業員の雇用の安定を図る。③大津地区労働者福祉協議会へ補助金を交付し、団体の活動を支援する。④職場環境改善を図るためワーク・ライフ・バランスセミナーを開催する。

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し
 (事業を取りまく社会環境)
 平成31年4月より働き方改革関連法が順次施行され、時間外労働や有給休暇など事業者による取り組みが法制化された。
 (見直しや改善等の経過)
 勤労者資金融資制度は、利用実績など必要性を加味し平成28年度末をもって廃止した。男性従業員育児休業取得奨励金制度も、事業者に対する職場環境改善の啓発に転換を図るため、平成29年度末をもって廃止した。職場環境の改善を図るため、国の委託事業として、平成28年度からワーク・ライフ・バランスセミナーを実施している。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	勤労者及び事業主、労働団体、企業及び事業所
目的(何のために)	勤労者等の生活の安定と勤労意欲の増進を図り、ワーク・ライフ・バランスセミナーに配慮した社会環境づくりに寄与するため
手段(どのようなやり方で)	市内の事業所に対して大津市従業員の育児休業・育児休暇の取得推進に熱心な企業等表彰に係る取り組み事例の募集用チラシ等による周知。ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催。事業主と労働団体への補助金の交付
成果(どのような状態にするのか)	育児休業や育児休暇を取得しやすい社会環境を創出する。勤労者が退職金制度の加入促進を図ることで、生活の安定や退職後の生活が保証される。各団体に補助金を交付することで雇用支援や勤労者福祉の増進等が図れる

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,145	5,678	5,520	5,520	5,520	5,520	5,520
事業費	1,767	1,956	1,798	1,798	1,798	1,798	1,798
国庫支出金	729	728	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	90	20	0	0	0	0	0
一般財源	948	1,208	1,798	1,798	1,798	1,798	1,798
人件費計	2,378	3,722	3,722	3,722	3,722	3,722	3,722
事務・技術(人)	0.29	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0211
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 事務事業番号 00866 労働者福祉対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-25-05-10-52-00-01-00	労働者福祉対策事業費	産業観光部商工労働政策課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 応募事業所数	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) 退職金共済制度加入事業所数	所	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	
		76.00	103.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 応募事業所における育児休業取得者数	人	50.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	
		5.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 退職金共済制度補助金申請率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		81.00	77.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	事業者の表彰により取り組み事例を周知啓発することは妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	表彰制度の応募数は増加していないが、制度周知で取り組みを促す		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	企業表彰は好事例の普及に効果的である。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	企業表彰の事例の発信は働きやすい職場環境づくりに寄与している		
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	企業表彰の応募数が増加しないため、企業表彰とワーク・ライフ・バランスセミナーの開催により幅広く事業者の啓発に努めていく。好事例となる企業の発掘に注力し、企業表彰の応募数を増加させるとともに、企業の取り組みにつながる研修テーマの設定に努めていく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	企業表彰の応募を増やすよう更なる周知啓発に努めるとともに、模範事例等の発掘を行うとともに、横展開に向けて企業へ情報提供すること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00866 労働者福祉対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)応募事業所数	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	指標説明	表彰に応募された事業所数						
(活動)退職金共済制度加入事業所数	所	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
	指標説明	退職金共済制度に加入する19名以下の中小零細企業数						
(成果)応募事業所における育児休業取得者数	人	50.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
	指標説明	育児休業を取得された人の数						
(成果)退職金共済制度補助金申請率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	申請事業所/対象事業所						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0212
評価年度 令和 3年度
所属 1601
事務事業番号 02512

進捗区分 評価完了
産業観光部商工労働政策課
商工業振興施策推進事業

所属長名 森口 誠人
記入者 前田 拓真

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	028	商工業の振興				
取組の方向性	002	地域産業の承継				
事務事業	011	商工業振興施策推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等						
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>大津市中小企業振興計画に基づき、関係機関の参加により大津市中小企業振興に関する円卓会議を開催し、中小企業事業者の支援施策の検討及び支援機関との情報共有や連携を推進する。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>市内中小企業にあつては、人材確保や事業承継等の課題が山積しており、本市経済の振興に中小企業振興が不可欠であることから、関係機関と連携を図りながら、本市の中小企業を振興することが必要である。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>本市中小企業の振興に関する円卓会議や関係機関、市内事業者へのヒアリングを実施し、大津市地域産業振興条例を制定し、大津市中小企業・小規模企業振興ビジョンを策定した。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市内中小企業、経済団体
目的(何のために)	大津市内の中小企業事業者の振興、活性化を図るため
手段(どのようなやり方で)	関係団体や有識者による円卓会議
成果(どのような状態にするのか)	関係団体と情報共有し連携を図ることにより、事業者への支援を充実させる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	32,878	597,249	181,244	119,119	59,119	59,119	59,119
事業費	25,961	590,139	174,134	112,009	52,009	52,009	52,009
国庫支出金	0	0	173,000	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	25,961	590,139	1,134	112,009	52,009	52,009	52,009
人件費計	6,917	7,110	7,110	7,110	7,110	7,110	7,110
事務・技術(人)	0.75	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.25	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

635 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0212
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1601 産業観光部商工労働政策課
 事務事業番号 02512 商工業振興施策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-05-10-61-00-02-00	商工業振興施策推進事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)大津市中小企業・小規模企業振興推進会議開催回数	回	0.00	0.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
(成果)推進会議において検討し実現した事業等の件数	事業	0.00	0.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
(活動)大津市中小企業円卓会議開催回数	回	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)円卓会議の開催により実現した重点プロジェクトの件数	事業	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	多数の関係者から意見を聴取できている。		
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	3年度は成果の達成よりも条例・ビジョンの策定を優先した。		
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	条例及びビジョンの策定を通じて関係者間の連携ができた。		
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	条例及びビジョンに基づく事業を通じて地域産業の振興に貢献する		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	円卓会議や事業者ヒアリング、アンケートにより意見聴取した結果等を参考に策定した「大津市地域産業振興条例」及び「大津市中小企業・小規模企業振興ビジョン」に基づき、社会情勢やニーズに即した中小企業等の振興施策を総合的にかつ計画的に推進していく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	大津市地域産業振興条例と大津市中小企業振興ビジョンに基づき、施策の効果的な実施に取り組むとともに、事業者ヒアリングを通じて、事業者のニーズに沿った中小企業振興施策の検討を進めること。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0213
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 事務事業番号 00648 国際親善協会組織強化事業

所属長名 伏見 亮平
 記入者 小西 亜美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	014	多文化共生・国際交流の推進				
取組の方向性	002	多文化共生の地域づくりの推進				
事務事業	001	国際親善協会組織強化事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等						

事業概要	<p>(事業概要) 市内最大の民間国際交流団体である（公財）大津市国際親善協会の運営を支援することにより、市民主体の国際交流及び国際協力活動並びに多文化共生の推進を図るもの。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 姉妹友好都市をはじめとした諸外国との交流等を通じて市民主体の国際交流活動を推進し、市民の国際理解の推進を図る必要がある。また、国籍や民族などの異なる人々が互いの違いを認め合い、だれもが地域社会の構成員として生活していけるよう、多文化共生社会の実現に向けた事業を実施していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 令和元年度分より施設管理費を補助対象外とする見直しを行った。また、令和4年度より市会計年度任用職員の給料表に準じて人件費を算出している。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	(公財) 大津市国際親善協会を対象として
目的(何のために)	市民主体の国際交流及び国際協力活動並びに多文化共生を推進するため
手段(どのようなやり方で)	補助金交付等、運営に対する支援を行い
成果(どのような状態にするのか)	地域の国際化と市民の多文化に対する理解の促進を図ると共に、国籍や民族の異なる人々が互いの違いを認め合い、地域社会の構成員として共に生きていける社会をつくる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	19,762	9,415	10,591	10,591	10,591	10,591	10,591
事業費	16,945	7,040	8,216	8,216	8,216	8,216	8,216
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	16,945	7,040	8,216	8,216	8,216	8,216	8,216
人件費計	2,817	2,375	2,375	2,375	2,375	2,375	2,375
事務・技術(人)	0.25	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0213
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 事務事業番号 00648 国際親善協会組織強化事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-50-00-07-00	大津市国際親善協会組織強化事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 会員登録ボランティア数	人	115.00	115.00	115.00	115.00	115.00	115.00	115.00	
		51.00	38.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) ボランティア活動参加者数	人	170.00	140.00	140.00	140.00	140.00	140.00	140.00	
		60.00	16.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) フェイスブックでの発信回数	回	115.00	115.00	0.00	100.00	105.00	110.00	115.00	
		51.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) フェイスブックのフォロワー数	人	115.00	115.00	0.00	430.00	440.00	450.00	460.00	
		51.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市民主体の国際交流・多文化共生推進等の事業が実施できている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	コロナウイルスの影響により事業の中止・縮小を余儀なくされた。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	C
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	市との役割分担を整理する必要がある。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	協会の円滑な事業実施に寄与している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和元年度より、本市の国際親善推進事業及び多文化共生推進事業の業務の一部を委託している。今後、本市が取り組むべき事業の方向性と、それに基づく市と協会の役割分担の整理を行い、目標の達成に向けて本市と協会が連携し、より効果的で効率的な手法で事業を展開していくことを目指す。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	補助金の交付基準に基づき、適切な支援を継続していくこと。また、国際交流・多文化共生推進の取組方針及び市・協会間の役割分担を明確化し、両方で連携して事業を進めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00648 国際親善協会組織強化事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 会員登録ボランティア数	人	115.00 51.00	115.00 38.00	115.00 0.00	115.00 0.00	115.00 0.00	115.00 0.00	115.00 0.00
	指標説明	国際親善協会会員でボランティア登録している人数						
(成果) ボランティア活動参加者数	人	170.00 60.00	140.00 16.00	140.00 0.00	140.00 0.00	140.00 0.00	140.00 0.00	140.00 0.00
	指標説明	ボランティア登録者で実際に協会ボランティア活動に参加した人数						
(活動) フェイスブックでの発信回数	回	115.00 51.00	115.00 0.00	0.00 0.00	100.00 0.00	105.00 0.00	110.00 0.00	115.00 0.00
	指標説明	協会のFacebookからの発信回数（令和5年度より目標値を設定する）						
(成果) フェイスブックのフォロワー数	人	115.00 51.00	115.00 0.00	0.00 0.00	430.00 0.00	440.00 0.00	450.00 0.00	460.00 0.00
	指標説明	協会のFacebookをフォローしている人数（令和5年度より目標値を設定する）						

事務事業評価シート（1/2）

640 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0214
評価年度 令和 3年度
所属 1604
事務事業番号 00650

進捗区分 評価完了
産業観光部観光振興課
国際親善推進事業

所属長名 伏見 亮平
記入者 小西 亜美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	
基本政策	005	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	
施策	014	多文化共生・国際交流の推進	
取組の方向性	001	国際交流を通じた国際理解の推進	
事務事業	001	国際親善推進事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	民間委託		
評価区分	対象	主な取組区分	対象
根拠法令等			

事業概要	<p>(事業概要) 姉妹・友好都市を始めとする諸外国との友好親善を図るため、外国人来訪者の受け入れ等に対応する。また、学校等において国際文化理解教室等を開催し、市民の国際感覚の向上を図る。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、海外からの訪問団の受入等対面による国際交流事業の中止・延期が続いており、交流再開の目処が立たない。また、感染拡大時期においては、国際文化理解教室の実施を見合わせる必要がある。 (見直しや改善等の経過) 姉妹都市とのオンライン交流事業を小学校の授業の一環として行い、顔の見える交流を行ったほか、学校や園等における国際文化理解教室では対象年齢を限定し、子どもたちとの身体的な接触を極力減らすなどの対策をとりながら実施した。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	諸外国の文化や風習に対する理解を深め、グローバル化社会に対応するため
手段(どのようなやり方で)	姉妹友好都市等を始めとする諸外国との友好親善を図るほか、国際文化理解教室を開催することにより
成果(どのような状態にするのか)	相互理解を深め、国際性豊かな感覚を身に付ける

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,190	8,957	9,677	8,076	8,140	8,140	8,140
事業費	3,425	3,407	4,127	2,526	2,590	2,590	2,590
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	4	4	4	4	4
一般財源	3,425	3,407	4,123	2,522	2,586	2,586	2,586
人件費計	2,765	5,550	5,550	5,550	5,550	5,550	5,550
事務・技術(人)	0.15	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0214
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 事務事業番号 00650 国際親善推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-50-00-01-00	国際親善推進費	産業観光部観光振興課
01-10-05-57-50-00-02-00	会計年度任用職員雇用経費	産業観光部観光振興課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 諸外国からの訪問団受入回数	回	5.00	5.00	3.00	2.00	3.00	2.00	3.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) 国際文化理解教室の開催回数	回	65.00	65.00	20.00	40.00	65.00	65.00	65.00	
		35.00	19.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 諸外国からの訪問者受入人数	人	30.00	40.00	30.00	20.00	30.00	20.00	30.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 国際文化理解教室の受講者数	人	2,050.00	4,000.00	1,000.00	2,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	
		793.00	396.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
		評価理由	

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	姉妹友好都市を中心とした市民主体の国際交流事業を今後も継続できるよう、引き続き行政間の連絡調整等を行う。国際文化理解教室については、対象者が保育園・幼稚園児に大きく偏りがあるため、幅広い世代の市民に受講してもらえるよう、令和4年度より周知方法等の見直しを図り、市民の国際理解の促進を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	学校等における国際文化理解教室の開催や、市民団体等の国際交流活動により、市民の国際理解を深めることは重要であると考えており、今後も主として市民主体の国際親善交流に努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1604 産業観光部観光振興課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00650 国際親善推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 諸外国からの訪問団受入回数	回	5.00	5.00	3.00	2.00	3.00	2.00	3.00
	指標説明	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 公式訪問者受入回数						
(活動) 国際文化理解教室の開催回数	回	65.00	65.00	20.00	40.00	65.00	65.00	65.00
	指標説明	35.00 19.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 学校・園訪問や出前講座における開催回数						
(成果) 諸外国からの訪問者受入人数	人	30.00	40.00	30.00	20.00	30.00	20.00	30.00
	指標説明	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 公式訪問者受入人数						
(成果) 国際文化理解教室の受講者数	人	2,050.00	4,000.00	1,000.00	2,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
	指標説明	793.00 396.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 教室の受講者数						

事務事業評価シート（1/2）

643 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0215
評価年度 令和 3年度
所属 1604
事務事業番号 00654

進捗区分 評価完了
産業観光部観光振興課
多文化共生推進事業

所属長名 伏見 亮平
記入者 小西 亜美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り
基本政策	005	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします
施策	014	多文化共生・国際交流の推進
取組の方向性	002	多文化共生の地域づくりの推進
事務事業	002	多文化共生推進事業

新規継続区分	継続			
運営方法	民間委託			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	

根拠法令等

事業概要	<p>(事業概要) 国際化の進展に伴い外国籍市民が増加する中で、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的差異を認め合いながら地域社会の一員としてともに生きていく「多文化共生」社会の実現を目指す。</p>
------	---

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 本市における在住外国人数は微増しており、国籍や在留資格などの多様化が進んでいる。 (見直しや改善等の経過) 「大津市行政文書翻訳・通訳サポーター制度」の運用により、行政文書の多言語への翻訳や市役所での相談業務へ通訳の派遣を継続して行うことで、在住外国人のサポートを行っている。</p>
----------------------	---

【事業分析】

対象(何又は誰を)	日本語によるコミュニケーションが困難な外国人や日本人市民を対象に
目的(何のために)	地域に住む外国人が安心して暮らせる環境を整備し、外国人との共生社会を実現させるため
手段(どのようなやり方で)	行政文書の多言語化や窓口等への通訳派遣などを行うほか、関係団体との多文化共生推進事業の共催等による啓発活動の充実を図ることにより
成果(どのような状態にするのか)	外国人に平等な行政サービスを提供するほか、市民の多文化に対する理解を促進し、国籍や民族の異なる人々が互いの違いを認め合い、地域社会の構成員として共に生きていける社会をつくる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,805	6,240	6,302	8,186	8,282	8,282	8,282
事業費	1,218	1,465	1,527	3,411	3,507	3,507	3,507
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,218	1,465	1,527	3,411	3,507	3,507	3,507
人件費計	1,587	4,775	4,775	4,775	4,775	4,775	4,775
事務・技術(人)	0.10	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

644 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0215
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 事務事業番号 00654 多文化共生推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-50-00-05-00	多文化共生推進事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値						下段：実績値	
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 翻訳・通訳サポーター登録数	人	108.00	95.00	80.00	90.00	95.00	95.00	95.00	
		65.00	75.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) 関係団体との共催事業の実施回数	回	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 行政文書翻訳件数	件	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		64.00	92.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 多文化共生推進事業への参加人数	人	1,400.00	2,100.00	2,100.00	2,100.00	2,100.00	2,100.00	2,100.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準				評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である			B
		B	ほぼ妥当である			
		C	あまり妥当ではない			
		D	妥当ではない			
		評価理由	多言語による行政サービスを円滑に提供できている。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている			C
		B	やや上がっている			
		C	あまり上がっていない			
		D	上がっていない			
		評価理由	コロナウイルスの影響による事業中止により成果が上がらなかった			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である			B
		B	やや効率的である			
		C	あまり効率的でない			
		D	効率的でない			
		評価理由	ボランティアの活用により、円滑に翻訳・通訳が実施できている。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している			B
		B	やや貢献している			
		C	あまり貢献していない			
		D	貢献していない			
		評価理由	外国人に対する公平な行政サービスの提供に寄与している。			
評価理由						

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	今後の国の動向次第では外国人住民が増加することが予想される。日本語を十分に理解できない外国人に対するコミュニケーション支援に加え、外国人が地域社会の構成員として活躍できる多文化共生社会の実現のために、住民の国際理解の促進や、日本人住民と外国人住民がつながる仕掛けづくりを関係団体と連携して取り組んでいく必要がある。令和5年度からの実施を目標に、日本語教室等を活用した交流の場づくりの検討を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	日本語によるコミュニケーションが困難な外国籍市民も、公平に行政サービスを受受できるよう進めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度
 所属 1604
 総合計画 03
 事務事業番号 00654

進捗区分 評価完了
 産業観光部観光振興課
 大津市総合計画 第2期実行計画
 多文化共生推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 翻訳・通訳サポーター登録数	人	108.00	95.00	80.00	90.00	95.00	95.00	95.00
	指標説明	65.00	75.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 関係団体との共催事業の実施回数	回	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	指標説明	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 行政文書翻訳件数	件	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	64.00	92.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 多文化共生推進事業への参加人数	人	1,400.00	2,100.00	2,100.00	2,100.00	2,100.00	2,100.00	2,100.00
	指標説明	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事務事業評価シート（1/2）

646 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0216
評価年度 令和 3年度
所属 1604
事務事業番号 00674

進捗区分 評価完了
産業観光部観光振興課
旧竹林院管理運営事業

所属長名 川島 英和
記入者 林田 卓馬

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	013	観光の振興				
取組の方向性	001	大津の魅力を生かした受入整備とコンテンツ活用				
事務事業	001	旧竹林院管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市旧竹林院の設置及び管理に関する条例					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>平成5年4月に開設、平成18年度から指定管理者制度を導入し、大津市の主要な観光地である坂本の拠点施設として効率的な管理を行う。また、各種媒体を通じたPRや坂本観光協会等と共同したイベントを実施し、誘客増に努める。</p> <p>なお、耐震改修工事を終えて、平成26年9月にリニューアルオープンをしている。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>比叡山延暦寺の門前町であり、伝統的建造物群保存地区として街並みなど優れた観光資源がある坂本は、大河ドラマ「麒麟が来る」の放映で注目されたが、コロナ禍による外出自粛が影響し、観光客は減少している。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>指定管理者制度による効率的な管理を行ってきた。平成30年度に、座卓を利用したリフレクション撮影を開始し、入園者は大幅に増加した。現在、新型コロナウイルスの影響を受けて入園者数が減少傾向にあるが、感染対策を講じながら自主事業を実施している。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	旧竹林院を
目的(何のために)	坂本地域への観光客の増加を図るため
手段(どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRや誘客イベントの実施により
成果(どのような状態にするのか)	入園者を増やす。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,659	8,825	6,040	6,000	6,000	6,000	6,000
事業費	3,559	4,025	2,840	2,800	2,800	2,800	2,800
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,559	4,025	2,840	2,800	2,800	2,800	2,800
人件費計	4,100	4,800	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
事務・技術(人)	0.50	0.60	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0216
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 事務事業番号 00674 旧竹林院管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-23-00-02-00	旧竹林院管理運営事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)管理運営費	千円	3,500.00	3,500.00	2,840.00	2,800.00	2,800.00	2,800.00	2,800.00	
		3,480.00	3,544.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)開園日数	日	308.00	308.00	308.00	308.00	309.00	308.00	308.00	
		284.00	306.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)入園者数	人	30,000.00	53,600.00	53,600.00	53,600.00	53,600.00	53,600.00	53,600.00	
		27,770.00	27,263.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	坂本地域の観光拠点であり、広く一般に公開する必要があるため。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	コロナの影響を受けて、目標値に対して未達である。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	指定管理者制度の導入により効率的な運営ができています。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	メディアにも取り上げられ、坂本地域への誘客にも繋がっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	国指定名勝庭園や市指定文化財を有する坂本地域の観光拠点であり、指定管理者と連携し、コロナ禍でも選ばれる施設となるべく、新型コロナウイルス感染症対策を鑑みた事業運営を行うことで目標達成に繋げる。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、周辺地域と一体となり、ユニークメニュー、ワーケーション等の拠点整備を始め、魅力度を付加した運営が指定管理者によって図られるよう進めていくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00674 旧竹林院管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)管理運営費	千円	3,500.00	3,500.00	2,840.00	2,800.00	2,800.00	2,800.00	2,800.00
	指標説明	3,480.00	3,544.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
旧竹林院の管理運営に要する経費								
(活動)開園日数	日	308.00	308.00	308.00	308.00	309.00	308.00	308.00
	指標説明	284.00	306.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
年間開園日数								
(成果)入園者数	人	30,000.00	53,600.00	53,600.00	53,600.00	53,600.00	53,600.00	53,600.00
	指標説明	27,770.00	27,263.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
年間入園者数								

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0217
評価年度 令和 3年度
所属 1604
事務事業番号 00675

進捗区分 評価完了
産業観光部観光振興課
曳山展示館管理運営事業

所属長名 川島 英和
記入者 木村 高志

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	013	観光の振興				
取組の方向性	001	大津の魅力を生かした受入整備とコンテンツ活用				
事務事業	002	曳山展示館管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市大津祭曳山展示館条例					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>平成3年12月に開館、平成18年度から指定管理者制度を導入し、効率的な管理を行っている。大津祭の曳山の原寸大模型をはじめ、大津祭を広く周知するための展示を行っている。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>大津祭は大津三大祭の一つであり、平成28年3月に国の重要無形民俗文化財の指定を受けた。大津祭の魅力発信、地域の人々の盛り上がりにつながったが、新型コロナ拡大により大津祭は直近2年連続で中止となっている。(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成22年度に映像等の大規模改修を実施し、平成23年4月からリニューアルオープンした。館内の説明パネルの多言語化、屋上防水工事等を実施してきた。令和6年度より観覧料を導入する方針を立てた。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津祭曳山展示館を
目的(何のために)	大津祭を広く周知し、街歩き観光の拠点としての機能を発揮するため
手段(どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRにより
成果(どのような状態にするのか)	入館者が増加するとともに、大津祭の魅力が広く周知される。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	13,854	13,263	13,470	13,470	9,931	9,931	9,931
事業費	11,804	11,263	11,470	11,470	7,931	7,931	7,931
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	11,804	11,263	11,470	11,470	7,931	7,931	7,931
人件費計	2,050	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
事務・技術(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

650 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0217
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 事務事業番号 00675 曳山展示館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-23-00-04-00	曳山展示館管理運営事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)管理運営費	千円	11,340.00	11,060.00	11,060.00	11,060.00	7,520.00	7,520.00	7,520.00
		11,474.00	11,060.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)開館日数	日	308.00	308.00	308.00	308.00	309.00	308.00	308.00
		270.00	308.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)入館者数	人	40,000.00	29,000.00	29,000.00	29,000.00	29,000.00	29,000.00	29,000.00
		14,825.00	20,290.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		評価
評価項目						
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A	A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
評価理由		大津祭の魅力を周知するための施設として指定管理制度が望ましい				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	C	C
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
評価理由		新型コロナウイルス拡大に伴い大津祭中止、来館者数が目標に達していない				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B	B
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
評価理由		指定管理者制度の導入により、効率的、魅力的な運営ができています				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A	A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
評価理由		大津祭に造詣の深い団体の運営により、案内展示の工夫が見られる				
評価理由						

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きいものの、300年の伝統を誇る大津祭の魅力、引いては大津の歴史と文化を伝える取り組みに努め、来館者数の増加を目標に施設を運営していく。また、令和6年度より観覧料を導入するとともに、計画的な施設の改修、より魅力的な展示ソフトの更新を図っていく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、令和6年度からの観覧料導入と併せて、宿場町構想等、各種事業と連携し積極的なPRが図られるよう進めていくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1604 産業観光部観光振興課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00675 曳山展示館管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)管理運営費	千円	11,340.00	11,060.00	11,060.00	11,060.00	7,520.00	7,520.00	7,520.00
	指標説明	11,474.00	11,060.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		曳山展示館の管理運営に要する経費						
(活動)開館日数	日	308.00	308.00	308.00	308.00	309.00	308.00	308.00
	指標説明	270.00	308.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		年間開館日数						
(成果)入館者数	人	40,000.00	29,000.00	29,000.00	29,000.00	29,000.00	29,000.00	29,000.00
	指標説明	14,825.00	20,290.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		年間入館者数						

事務事業評価シート（1/2）

652 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0218
評価年度 令和 3年度
所属 1604
事務事業番号 00676

進捗区分 評価完了
産業観光部観光振興課
温泉維持管理事業

所属長名 川島 英和
記入者 下田 剛史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	013	観光の振興				
取組の方向性	001	大津の魅力を生かした受入整備とコンテンツ活用				
事務事業	003	温泉維持管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等 大津市雄琴温泉供給条例・大津市温泉保養交流施設条例

事業概要
(事業概要)
雄琴温泉の旅館に対して安定して良質な温泉を供給するため、泉源を含めた温泉供給施設の適正な維持管理を実施する。
温泉保養交流施設「比良とびあ」を市北部地域の観光拠点として管理運営を行う。

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し
(事業を取りまく社会環境)
びわ湖や世界遺産比叡山延暦寺、比叡比良の山並み等優れた観光資源に囲まれ、都市近郊の観光地としてのメリットを有している。大雨等の自然災害や、新型コロナウイルスの影響で、利用者数が伸び悩んでいる。
(見直しや改善等の経過)
雄琴温泉は、4号5号泉制御弁修繕と5号泉UPS取替修繕を実施した。比良とびあは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和3年8月8日から同月26日を時短営業、令和3年8月26日から同年9月30日を休業とした。また換気屋根仮設補修工事を実施し、露天風呂濾過ポンプ取替修繕と武奈更衣室空調機及び休憩スペース窓側系統空調機修繕を行った。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	雄琴温泉の施設や比良とびあの管理運営を
目的(何のために)	大津市の主要な観光地である雄琴温泉や市北部の観光拠点である比良とびあのPRと誘客増を図るため
手段(どのようなやり方で)	雄琴温泉設備については修繕や定期点検等の維持管理と、比良とびあについては指定管理者制度を導入し
成果(どのような状態にするのか)	安定した温泉供給や指定管理者の工夫により、温泉を中心としたPRと来訪者数の増加を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	18,213	16,459	20,725	26,259	26,352	25,070	24,561
事業費	14,113	12,459	17,525	23,059	23,152	21,870	21,361
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	5,700	12,459	12,147	12,147	12,147	12,147	12,147
一般財源	8,413	0	5,378	10,912	11,005	9,723	9,214
人件費計	4,100	4,000	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
事務・技術(人)	0.50	0.50	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

653 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0218
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 事務事業番号 00676 温泉維持管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-23-00-07-00	温泉維持管理事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 雄琴温泉供給日数	日	365.00	365.00	365.00	365.00	366.00	365.00	365.00
		365.00	365.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 比良とびあ開館日数	日	360.00	360.00	360.00	360.00	361.00	360.00	360.00
		317.00	326.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 比良とびあ利用者数	人	122,000.00	113,300.00	113,300.00	113,300.00	113,300.00	113,300.00	113,300.00
		80,717.00	90,065.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 雄琴地区観光入り込み数	人	1,000,000.00	922,400.00	922,400.00	922,400.00	922,400.00	922,400.00	922,400.00
		505,109.00	493,835.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	雄琴温泉は、大津市内では数少ない温泉施設であることから、引き続き良質な温泉を安定供給できるよう努めていく。比良とびあについては、令和4年より料金体系を見直し、収支改善を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	今後も温泉設備の適正な管理と安定供給に努め、周辺地域等と連携し事業展開を図っていくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00676 温泉維持管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)雄琴温泉供給日数	日	365.00	365.00	365.00	365.00	366.00	365.00	365.00
	指標説明	年間温泉供給日数						
(活動)比良とびあ開館日数	日	360.00	360.00	360.00	360.00	361.00	360.00	360.00
	指標説明	年間開館日数						
(成果)比良とびあ利用者数	人	122,000.00	113,300.00	113,300.00	113,300.00	113,300.00	113,300.00	113,300.00
	指標説明	年間利用者数						
(成果)雄琴地区観光入り込み数	人	1,000,000.00	922,400.00	922,400.00	922,400.00	922,400.00	922,400.00	922,400.00
	指標説明	年間入り込み数（暦年）						

事務事業評価シート（1/2）

655 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0219
評価年度 令和 3年度
所属 1604
事務事業番号 00678

進捗区分 評価完了
産業観光部観光振興課
公人屋敷管理運営事業

所属長名 川島 英和
記入者 林田 卓馬

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
基本政策	005	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
施策	013	観光の振興		
取組の方向性	001	大津の魅力を生かした受入整備とコンテンツ活用		
事務事業	004	公人屋敷管理運営事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外	
根拠法令等	大津市公人屋敷の設置及び管理に関する条例			
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>平成17年11月に公人屋敷として開設するとともに指定管理者制度を導入し、大津市の主要な観光地である坂本の拠点施設として効率的な管理を行う。また、各種媒体を通じたPRや坂本観光協会等と共同したイベントを実施し、誘客増に努める。</p>			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>比叡山延暦寺の門前町であり、伝統的建造物群保存地区として街並みなど優れた観光資源がある坂本は、大河ドラマ「麒麟が来る」の放映で注目されたが、コロナ禍による外出自粛が影響し、観光客は減少している。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>指定管理者制度による効率的な管理を行ってきた。現在、新型コロナウイルスの影響を受けて来館者数が減少傾向にあるが、来館者数増加のため、旧竹林院との共通券発売といった新たな自主事業に取り組んでいる。</p>			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	公人屋敷を
目的(何のために)	坂本地域への観光客の増加を図るため
手段(どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRや誘客イベントの実施により
成果(どのような状態にするのか)	入館者を増やす。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,041	5,989	5,880	5,830	5,830	5,830	5,830
事業費	3,991	3,989	3,880	3,830	3,830	3,830	3,830
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,991	3,989	3,880	3,830	3,830	3,830	3,830
人件費計	2,050	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
事務・技術(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

656 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0219
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 事務事業番号 00678 公人屋敷管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-23-00-19-00	公人屋敷管理運営事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)管理運営費	千円	3,989.00	3,989.00	3,880.00	3,830.00	3,830.00	3,830.00	3,830.00
		3,989.00	3,989.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)開館日数	日	303.00	303.00	303.00	303.00	304.00	303.00	303.00
		266.00	305.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)入館者数	人	3,600.00	3,700.00	3,700.00	3,700.00	3,700.00	3,700.00	3,700.00
		2,437.00	2,247.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	坂本地域の観光資源であり、広く一般に公開する必要があるため。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	コロナの影響を受けて、目標値に対して未達である。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	指定管理者制度を導入し、効率的な運営に取り組んでいる。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	旧竹林院との共通券発売により坂本地域の誘客の一躍を担っている			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	より一層選ばれる観光施設となるべく、令和3年度から実施した旧竹林院との共通券の販売を継続し、観光誘客の相乗効果を狙う。また、旧竹林院との館長兼務などの取り組みなど、指定管理者との連携強化及び創意工夫により、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みた自主事業の開催による入館者数の増加を目指す。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、周辺地域と一体となり、地域と連携したイベントや展示等を通じて、指定管理者によって魅力向上と入館者増が図られるよう進めていくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00678 公人屋敷管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)管理運営費	千円	3,989.00	3,989.00	3,880.00	3,830.00	3,830.00	3,830.00	3,830.00
	指標説明	3,989.00	3,989.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		公人屋敷の管理運営に関する経費						
(活動)開館日数	日	303.00	303.00	303.00	303.00	304.00	303.00	303.00
	指標説明	266.00	305.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		年間開館日数						
(成果)入館者数	人	3,600.00	3,700.00	3,700.00	3,700.00	3,700.00	3,700.00	3,700.00
	指標説明	2,437.00	2,247.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		年間入館者数						

事務事業評価シート（1/2）

658 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0220
評価年度 令和 3年度
所属 1604
事務事業番号 00683

進捗区分 評価完了
産業観光部観光振興課
観光案内所管理運営事業

所属長名 川島 英和
記入者 木村 高志

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	013	観光の振興				
取組の方向性	001	大津の魅力を生かした受入整備とコンテンツ活用				
事務事業	006	観光案内所管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等						

事業概要
(事業概要)
大津市観光の玄関口であるJR大津駅、堅田駅前、京阪石山駅と、主要な観光地の志賀、坂本及び石山寺に観光案内所を開設、さらには市内外のイベント等において臨時的サテライト観光案内所を設置し、観光客に対するきめ細やかな情報提供、パンフレット類の配布及びイベントのPR等を行う。

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し
(事業を取りまく社会環境)
新型コロナウイルス感染症拡大の中、個人や少人数によるまち歩き型の観光が見直され、旅行途上での情報収集への対応が非常に重要になってきており、観光拠点に関する情報提供等受入環境整備の機能向上が求められている。
(見直しや改善等の経過)
各観光案内所への誘導看板の設置や英語対応が可能な人材配置及びWiFiの設置を行うとともに、大津駅観光案内所では物販スペースの拡大や来訪者へ商品の試食試飲を開始したが、新型コロナウイルス感染症対策のため大規模イベントの開催や試食試飲は見合わせている。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	観光案内所を
目的(何のために)	来訪者が求める観光情報を提供するために
手段(どのようなやり方で)	観光拠点となる場所に設置するとともに、観光案内所や観光資源の場所を分かりやすく誘導表示を行ったり、来訪者のニーズに応えられる情報や地元でしか入手できない情報を収集し、伝えることで
成果(どのような状態にするのか)	大津の魅力を伝え、大津ファンを増やし、来訪者の増加に貢献する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	38,137	40,651	41,554	41,777	42,197	41,554	41,777
事業費	33,217	35,851	37,554	37,777	38,197	37,554	37,777
国庫支出金	3,124	181	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,522	2,604	2,522	2,522	2,522	2,522	2,522
一般財源	27,571	33,066	35,032	35,255	35,675	35,032	35,255
人件費計	4,920	4,800	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
事務・技術(人)	0.60	0.60	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0220
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 事務事業番号 00683 観光案内所管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-70-00-01-00	観光案内所管理運営事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 年間営業日数	日	359.00	359.00	359.00	359.00	360.00	359.00	359.00
		315.00	359.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 観光案内所利用人数	人	120,000.00	194,900.00	194,900.00	194,900.00	194,900.00	194,900.00	194,900.00
		103,202.00	110,877.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 観光入込客数	千人	14,000.00	12,903.00	11,224.00	12,295.00	12,874.00	13,550.00	13,550.00
		7,563.00	7,365.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		評価
評価項目						
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	特定の施設や業種に偏らず広く情報を発信し来訪者の利便に供する				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		C
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	新型コロナウイルス感染症等により利用者が目標に達していない				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		B
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	主要駅前等に観光案内所を配置し専門性の高い業者へ委託している				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		B
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	旅行中情報の提供により来訪者の滞在時間を長く活性化させている				
評価理由						

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き観光情報発信拠点として、来訪者の満足度や利便性の向上を図る。新型コロナウイルス感染症の影響を見定め、個人客や近隣客にも満足できるようなイベント、コアな観光情報の提供にも努める。将来的に大津駅、石山駅、堅田駅前観光案内所の持続可能で効率的な運営の検討を進めていく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、周辺事業者等との連携のもと効果的な事業展開を図るとともに、来訪者の満足度を高める情報提供に努めること。		

事務事業評価指標一覧

660 頁
令和 4年 9月15日

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00683 観光案内所管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)年間営業日数	日	359.00	359.00	359.00	359.00	360.00	359.00	359.00
	指標説明	年間営業日数						
(成果)観光案内所利用人数	人	120,000.00	194,900.00	194,900.00	194,900.00	194,900.00	194,900.00	194,900.00
	指標説明	4月～3月の観光案内所利用者数（サテライト及び志賀観光案内所は含まない）						
(成果)観光入込客数	千人	14,000.00	12,903.00	11,224.00	12,295.00	12,874.00	13,550.00	13,550.00
	指標説明	1月～12月の観光入込客数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0221 進捗区分 評価完了 所属長名 川島 英和
 評価年度 令和 3年度 産業観光部観光振興課 記入者 松本 久孝
 所属 1604 観光振興事業
 事務事業番号 00686

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	013	観光の振興				
取組の方向性	001	大津の魅力を生かした受入整備とコンテンツ活用				
事務事業	007	観光振興事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市補助金等交付規則					
事業概要	(事業概要) 各種団体に対する負担金や大津三大祭等の各地域のイベント経費の一部について支援している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 花火大会や大津三大祭を目的とされた来訪者を、市内周遊へと誘う仕組みづくりや、各種イベントの継続的な開催、及び実施団体の自立した運営が必要である。 (見直しや改善等の経過) 補助金の交付基準の整備や、補助率の見直しなどを定期的に行い、各種イベントの継続的な開催等を妨げることなく、実施団体が自立した運営を行えるよう「稼げる」仕組みづくりが重要である。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内各地域の観光協会や観光関連事業者など
目的(何のために)	観光交流の推進及び来訪者の増加による滞在時間の延伸と観光消費額の増加を図るため
手段(どのようなやり方で)	地域住民や観光関連事業者との関係性を築き、合意形成を図りながら協働による事業推進を行う
成果(どのような状態にするのか)	観光交流事業の推進及び観光入込客数の増加

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	26,454	25,545	41,691	64,749	63,314	61,943	60,443
事業費	19,894	19,145	36,091	59,149	57,714	56,343	54,843
国庫支出金	0	0	1,500	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	19,894	19,145	34,591	59,149	57,714	56,343	54,843
人件費計	6,560	6,400	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
事務・技術(人)	0.80	0.80	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

662 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0221
評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1604 産業観光部観光振興課
事務事業番号 00686 観光振興事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-64-00-01-00	観光振興事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値						下段：実績値	
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)補助金額	千円	48,041.00	48,793.00	36,091.00	59,149.00	57,714.00	56,343.00	54,843.00	
		12,736.00	19,145.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)補助事業数	件	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	
		20.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)観光入込客数	千人	14,000.00	12,903.00	11,224.00	12,295.00	12,874.00	13,550.00	13,550.00	
		7,563.00	7,365.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	観光関係者連携により観光資源開発、地域振興に貢献している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	コロナ流行の影響で観光入込客数が減少した。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	歴史や文化に根差した行事の継続が期待できる。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	アフターコロナに向けた事業者への継続的な支援が必要である。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	大津三大祭やびわ湖大花火大会など、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていない観光事業に関して持続的な実施・再開ができるように事業者を支援するとともに、第3期観光交流基本計画のKPI達成に向け、アフターコロナを見据えた観光資源の開発にも力を入れていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	新型コロナ感染症流行後の観光振興を見据え、各種団体と連携し、大津三大祭への補助等、感染症対策を含めた支援に努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00686 観光振興事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)補助金額	千円	48,041.00	48,793.00	36,091.00	59,149.00	57,714.00	56,343.00	54,843.00
	指標説明	12,736.00 19,145.00 0.00 0.00 0.00 0.00						
(活動)補助事業数	件	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
	指標説明	20.00 20.00 0.00 0.00 0.00 0.00						
(成果)観光入込客数	千人	14,000.00	12,903.00	11,224.00	12,295.00	12,874.00	13,550.00	13,550.00
	指標説明	7,563.00 7,365.00 0.00 0.00 0.00 0.00						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0222
 評価年度 令和 3年度
 所属 1604
 事務事業番号 01389
 進捗区分 評価完了
 産業観光部観光振興課
 (公社) びわ湖大津観光協会運営補助事業

所属長名 川島 英和
 記入者 松本 久孝

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	
基本政策	005	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	
施策	013	観光の振興	
取組の方向性	002	戦略的な情報発信	
事務事業	002	(公社) びわ湖大津観光協会運営補助事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	その他		
評価区分	対象	主な取組区分	対象外

根拠法令等	大津市補助金等交付規則、(公社) びわ湖大津観光協会運営補助金交付基準		
事業概要	(事業概要) 公益社団法人びわ湖大津観光協会の人件費等にかかる運営費及び宣伝事業・イベント開催にかかる経費を支援している。 コロナ禍からの観光事業者の復活を後押しするため市と観光協会が密に連携を取り、施策を進めていく必要がある。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 本市観光行政の発展に寄与すべく、観光協会の安定的な運営と事業実施の為に補助金を支出しているが、公益社団法人として自立的に運営していく為の収益事業の検討等が喫緊の課題である。 (見直しや改善等の経過) 大津市補助制度適正化方針等に基づき、平成24年度から随時補助制度の見直しを行っている。令和元年度からは2本の事業補助金が自主財源へ移行した。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	公益社団法人びわ湖大津観光協会
目的(何のために)	大津市における観光資源を開発し、来訪者の誘致促進を図ることにより、観光事業の健全な発展と観光を通じた地域経済の活性化及び文化の振興並びにインバウンドを推進するため。
手段(どのようなやり方で)	協会の運営事業(人件費等)、宣伝事業、イベント開催にかかる経費を支援する。
成果(どのような状態にするのか)	公益社団法人びわ湖大津観光協会運営事業の拡充を図ることによる観光交流の推進及び観光入込客数の増加

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	58,071	58,515	69,403	81,475	81,475	81,975	79,075
事業費	51,511	52,115	64,603	76,675	76,675	77,175	74,275
国庫支出金	1,250	410	1,100	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,201	3,000	5,482	5,000	5,000	5,000	5,000
一般財源	48,060	48,705	58,021	71,675	71,675	72,175	69,275
人件費計	6,560	6,400	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
事務・技術(人)	0.80	0.80	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0222
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 事務事業番号 01389 (公社) びわ湖大津観光協会運営補助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-64-00-13-00	(公社) びわ湖大津観光協会運営補助金	産業観光部観光振興課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 補助金額	千円	62,309.00	63,410.00	64,603.00	76,675.00	76,675.00	77,175.00	74,275.00
		51,512.00	52,115.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 補助事業数	件	12.00	12.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
		9.00	9.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 観光入込客数	千人	14,000.00	12,903.00	11,224.00	12,295.00	12,874.00	13,550.00	13,550.00
		7,563.00	7,365.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 実施イベント観 客数	千人	455.00	368.00	50.00	400.00	450.00	450.00	450.00
		65.00	53.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
	C あまり妥当ではない		
	D 妥当ではない		
評価理由	本市観光振興への寄与を目的とする法人であり相手方として妥当。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
	C あまり上がっていない		
	D 上がっていない		
評価理由	新型コロナ影響により、観光入込客数等が減少した。		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
	C あまり効率的でない		
	D 効率的でない		
評価理由	観光に特化した協会であり各事業者との連携は効率的。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
	C あまり貢献していない		
	D 貢献していない		
評価理由	協会が事業者の窓口になることで、市施策が効率的に実現している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	市と協会の役割分担を明確にし、今後も相互に協力しながら効果的な連携及び観光行政の推進を図っていく。特にアフターコロナを見据えて地域への継続的な伴走支援が必要な時期であり、観光交流基本計画の目標達成にむけて積極的に取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	新型コロナ感染症流行後の観光振興を見据え、連携を密にし、効果的な事業推進を図ること。また、当該協会の自立性を高めるため、自主財源の確保等についても、検討を続けること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01389 (公社)びわ湖大津観光協会運営補助事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 補助金額	千円	62,309.00	63,410.00	64,603.00	76,675.00	76,675.00	77,175.00	74,275.00
	指標説明	51,512.00 52,115.00 0.00 0.00 0.00 0.00 (公社)びわ湖大津観光協会に対する補助金額						
(活動) 補助事業数	件	12.00	12.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	指標説明	9.00 9.00 0.00 0.00 0.00 0.00 補助対象事業数						
(成果) 観光入込客数	千人	14,000.00	12,903.00	11,224.00	12,295.00	12,874.00	13,550.00	13,550.00
	指標説明	7,563.00 7,365.00 0.00 0.00 0.00 0.00 1月～12月までの観光入込客数						
(成果) 実施イベント観客数	千人	455.00	368.00	50.00	400.00	450.00	450.00	450.00
	指標説明	65.00 53.00 0.00 0.00 0.00 0.00 ライトアップ事業(総会資料発表)・大花火大会(主催者発表)・その他誘客促進事業の入込客数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0223
 評価年度 令和 3年度
 所属 1604
 事務事業番号 01931

進捗区分 評価完了
 産業観光部観光振興課
 観光交流推進事業

所属長名 川島 英和
 記入者 清水 祐太郎

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	013	観光の振興				
取組の方向性	001	大津の魅力を生かした受入整備とコンテンツ活用				
事務事業	008	観光交流推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等						

事業概要
 (事業概要)
 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、観光事業が深刻なダメージを受けている状況であることから、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症を踏まえた大津市観光戦略を策定した。策定した観光戦略では、感染状況や観光需要の回復を見極め、状況において必要となる取り組みを3つのテーマ（大津の資源・魅力の活用、コンテンツ等の高付加価値化、安心安全な観光三方よしの遵守）を掲げ、テーマに沿って様々な施策に取り組む。
 さらに令和4年度以降はワクチン接種が進み、観光需要が徐々に回復することを想定した第3期観光交流基本計画を策定し、計画に沿い感染症対策や多様化する旅行ニーズに対応した観光振興に取り組む。

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し
 (事業を取りまく社会環境)
 新型コロナウイルス感染拡大の状況下においても、新しい生活様式に沿った観光誘客の取り組みを行ったが、感染症拡大防止や事業者支援が最優先であり、人流を抑制しながらの対策は非常に難しいものがあった。
 (見直しや改善等の経過)
 新型コロナウイルス感染症影響下における対応と収束後の回復期を見据えた観光戦略を策定し、感染症対策を行いながらも新しい生活様式にあった新たなニーズ等に対応した観光誘客に取り組む。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内各地域の観光協会や観光関連事業者など。市内に点在する観光資源等を活用する。
目的(何のために)	観光交流の推進や観光客（来訪者）の増加による滞在時間の延伸と観光消費額の増加を図るため。
手段(どのようなやり方で)	国や県の動向や社会情勢の把握、地域住民や観光関連事業者との関係性構築など、様々な情報取得及び合意形成を図りながら事業推進を行う。
成果(どのような状態にするのか)	本市の知名度向上とともに、観光入込客数が増加し、市内周遊が促進され、観光消費額が増加する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	141,552	92,876	62,143	383,522	334,815	39,901	37,101
事業費	107,423	69,106	35,973	311,772	263,065	14,351	11,551
国庫支出金	96,573	15,842	1,450	20,000	15,000	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	3,250	0	0	0
その他	614	5,173	0	1,500	0	0	0
一般財源	10,236	48,091	34,523	287,022	248,065	14,351	11,551
人件費計	34,129	23,770	26,170	71,750	71,750	25,550	25,550
事務・技術(人)	3.90	2.70	3.00	8.00	8.00	3.00	3.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.70	0.70	0.70	2.50	2.50	0.50	0.50
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0223
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 事務事業番号 01931 観光交流推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-64-00-04-00	観光交流推進事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)負担金額	千円	25,065.00	65,860.00	6,650.00	286,706.00	219,111.00	1,760.00	1,760.00
		19,895.00	6,378.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)負担金及び補助金の件数	件	7.00	7.00	7.00	5.00	5.00	3.00	3.00
		9.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)観光入込客数	千人	14,000.00	12,903.00	11,224.00	12,295.00	12,874.00	13,550.00	13,550.00
		7,563.00	7,365.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	観光関連事業などが主体となり、継続的な取り組みに繋がっている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響下においても、下支援を行った		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	SNS等幅広いコンテンツで本市の魅力を積極的に発信した		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	感染環境に対応した観光振興や魅力の再発見を行った		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	新しい生活様式などアフターコロナにあわせバランスの取れた観光振興策を実施する。実施にあたっては、ピウイチ拠点の整備や琵琶湖疏水・坂本・石山をはじめとする歴史的文化財の活用、なぎさ公園を中心とした新たな観光体験の創出、観光事業者への支援などを取り組み、市内周遊の充実を目指す。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、観光ニーズを捉えた効果的な事業展開を図るため、国や県の施策連携や観光事業者への支援を効率的かつ積極的に行うこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1604 産業観光部観光振興課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 01931 観光交流推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)負担金額	千円	25,065.00	65,860.00	6,650.00	286,706.00	219,111.00	1,760.00	1,760.00
	指標説明	19,895.00 6,378.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00						
(活動)負担金及び補助金の件数	件	7.00	7.00	7.00	5.00	5.00	3.00	3.00
	指標説明	9.00 4.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00						
(成果)観光入込客数	千人	14,000.00	12,903.00	11,224.00	12,295.00	12,874.00	13,550.00	13,550.00
	指標説明	7,563.00 7,365.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00						

事務事業評価シート（1/2）

670 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0224
 評価年度 令和 3年度
 所属 1604
 事務事業番号 02121

進捗区分 評価完了
 産業観光部観光振興課
 おごと温泉観光公園管理運営事業

所属長名 川島 英和
 記入者 下田 剛史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	013	観光の振興				
取組の方向性	001	大津の魅力を生かした受入整備とコンテンツ活用				
事務事業	009	おごと温泉観光公園管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市おごと温泉観光公園条例					
事業概要	(事業概要) 大津市の主要な観光地であるおごと温泉エリア内に、来訪者に癒しと交流の場を与えるため、足湯や公園及び地元物産の展示販売、飲食の提供、周辺の観光案内を行う観光拠点を整備し、指定管理者制度導入による効率的な運営とおごと温泉への誘客増を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 市の主要な観光地である雄琴地区は、都市近郊にありながら温泉を有し、また世界遺産である比叡山延暦寺や歴史的景観に優れた坂本地区に近く、多くの観光客が訪れる。 (見直しや改善等の経過) 平成23年2月の開設と同時に指定管理者制度を導入、効率的な維持管理に取り組んでおり、指定管理者による様々な誘客策が講じられている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	おごと温泉観光公園を
目的(何のために)	おごと温泉への誘客増と地域住民や観光客の交流を促進するため
手段(どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRや誘客イベントの実施により
成果(どのような状態にするのか)	おごと温泉観光公園やおごと温泉に多くの観光客が訪れ、地元物産を購入し、帰られた後もおごと温泉をPRしていただけるようにする。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	20,089	20,078	20,195	20,078	20,078	20,078	20,078
事業費	16,809	16,878	16,995	16,878	16,878	16,878	16,878
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	16,809	16,878	16,995	16,878	16,878	16,878	16,878
人件費計	3,280	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
事務・技術(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0224
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 事務事業番号 02121 おごと温泉観光公園管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-23-00-06-00	おごと温泉観光公園管理運営事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)開場日数	日	358.00	358.00	358.00	358.00	359.00	358.00	358.00
		317.00	361.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)おごと温泉観光公園入り込み客数	人	80,000.00	54,800.00	54,800.00	54,800.00	54,800.00	54,800.00	54,800.00
		39,838.00	43,548.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	効率的な運営を行うため、指定管理者制を採用しており、妥当			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	集客策を打ち出しているが、新型コロナの影響で目標未達			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	指定管理者により効率的な運営を行っている。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	雄琴地域を中心に近隣の観光地をつなぐ拠点となっている。			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、指定管理者との情報共有に努め、コストを削減しながら集客に結び付くような事業運営を進めていく。また、坂本をはじめとする周辺地域との連携により、おごと温泉観光公園の来訪者を増加させ、事業目的を達成していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、指定管理者によってコンテンツの充実等の積極的な運営が図られるよう進めていくこと。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0225
 評価年度 令和 3年度
 所属 1604
 事務事業番号 02615

進捗区分 評価完了
 産業観光部観光振興課
 インバウンド国際観光推進事業

所属長名 伏見 亮平
 記入者 山田 創

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	013	観光の振興				
取組の方向性	002	戦略的な情報発信				
事務事業	001	インバウンド国際観光推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等						
事業概要	(事業概要) 外国からの来訪者に対し、情報発信及び受入体制の整備を図り、来訪者の増加及び滞在時間の延長から観光消費額の増額を通して、地域の活性化を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) コロナ禍により、壊滅的なダメージを受けたインバウンド需要を、収束後速やかに元の水準以上にジャンプアップできるような施策が求められている。 (見直しや改善等の経過) 令和2年度は全てのターゲット市場を休止し、令和3年度より台湾市場を再開し、コロナ収束後の速やかな誘客に対応できるよう準備を進めた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	外国からの来訪者
目的(何のために)	来訪者数の増加及び滞在時間の延長のため
手段(どのようなやり方で)	情報発信や受入体制の整備により
成果(どのような状態にするのか)	観光消費額が増加し、地域の活性化につながる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	13,198	14,003	18,582	42,266	24,730	24,730	24,730
事業費	3,564	4,583	5,962	29,646	12,110	12,110	12,110
国庫支出金	1,450	1,519	2,300	2,150	6,150	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,114	3,064	3,662	27,496	5,960	12,110	12,110
人件費計	9,634	9,420	12,620	12,620	12,620	12,620	12,620
事務・技術(人)	1.10	1.10	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0225
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 事務事業番号 02615 インバウンド国際観光推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-64-00-12-00	インバウンド国際観光推進事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 市政府、団体、旅行会社等訪問数	社	36.00	34.00	34.00	34.00	34.00	34.00	34.00	
		0.00	53.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 外国人宿泊者数	千人	210.00	197.00	75.00	110.00	162.00	197.00	210.00	
		23.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	観光事業全体の底上げのためにはインバウンド需要の回復が必須であることから、コロナ収束を見据えた市場分析やマーケティング等を実施し、これらに基づいた受入体制整備やプロモーション等を実施することにより、インバウンド需要増による観光消費額の増加、地域活性化につなげていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	コロナ収束後を見据え、今後のインバウンド推進におけるニーズを把握し、万博やワールドマスターズ等の国際イベントと連携を図りながら進めていくこと。		

事務事業評価指標一覧

675 頁
令和 4年 9月15日

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02615 インバウンド国際観光推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 市政府、団体、旅行会社等訪問数	社	36.00	34.00	34.00	34.00	34.00	34.00	34.00
	指標説明	0.00	53.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
市政府、団体、旅行会社などの現地セールス及びFAMツアーの実施								
(成果) 外国人宿泊者数	千人	210.00	197.00	75.00	110.00	162.00	197.00	210.00
	指標説明	23.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
市内宿泊施設への外国人宿泊者（滋賀県観光客入込状況調査）								

事務事業評価シート（1/2）

676 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0226
評価年度 令和 3年度
所属 1604
事務事業番号 04045

進捗区分 評価完了
産業観光部観光振興課
M I C E 推進事業費

所属長名 伏見 亮平
記入者 山田 創

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	013	観光の振興				
取組の方向性	001	大津の魅力を生かした受入整備とコンテンツ活用				
事務事業	013	M I C E 推進事業費				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等						

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>M I C E 推進は地域への経済効果が高く、ビジネス・イノベーション機会の創造、開催都市の国際的認知度やブランド力向上が期待できる。本市の強みである、京都・大阪からのアクセスの良さ、豊かな自然と歴史文化、湖岸エリア一帯の多種多様な施設を最大限に活用し、M I C E 推進に取組むことで、地域の経済活性化や魅力の向上を図る。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>コロナ禍により著しく減少したM I C E 需要を、ハイブリッド開催のようなニューノーマル形態を念頭に、M I C E 誘致を推進していく必要がある。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で思うような誘致活動が実施できなかったが、情報収集や現状分析を中心に事業を進めた。</p> <p>令和3年度においては、新型コロナウイルスの影響を受けつつも、学会開催の機運が高まりつつあったため、誘致活動等を中心とした活動を実施した。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	M I C E 関係者
目的(何のために)	M I C E 開催件数の増加及び参加者の満足度向上のため
手段(どのようなやり方で)	誘致活動、情報発信及び受入体制の整備により
成果(どのような状態にするのか)	M I C E 関連消費額が増加し、経済波及効果が高まることにより地域の活性化につながる

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	26,097	43,658	58,533	69,567	64,387	72,387	64,387
事業費	6,316	24,328	32,803	43,527	38,347	46,347	38,347
国庫支出金	550	3,586	7,288	8,250	6,500	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,766	20,742	25,515	35,277	31,847	46,347	38,347
人件費計	19,781	19,330	25,730	26,040	26,040	26,040	26,040
事務・技術(人)	2.30	2.30	3.10	3.10	3.10	3.10	3.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.30	0.30	0.30	0.40	0.40	0.40	0.40
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0226
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1604 産業観光部観光振興課
 事務事業番号 04045 MICE推進事業費

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-64-00-16-00	MICE推進事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)医療機関、大学、企業等訪問件数	件	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		0.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)新規MICE誘致件数	件	2.00	2.00	3.00	3.00	4.00	5.00	5.00
		0.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	令和3年度は「大津市MICE推進戦略」を策定するとともに、ホームページや動画等のプロモーションツールの充実を図った。また、これらと平行して、継続して誘致活動を実施することにより、主催者との関係性を構築しながら新規案件を獲得するなど着実に成果を上げることができたことから、今後も効果的な取組みを進めていく。一方で、びわこビジュアルズビューローとの役割分担や専門性の高い人材の育成等、継続した組織運営について今後検討する必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	MICE戦略に則り、関連事業者と密に連携を図りながら、効率的かつ効果的な誘致活動を進めていくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1604 産業観光部観光振興課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 04045 M I C E 推進事業費

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)医療機関、大学、企業等訪問件数	件	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	指標説明	0.00 30.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 医療機関、大学、企業等へのセールス実施						
(成果)新規MICE誘致件数	件	2.00	2.00	3.00	3.00	4.00	5.00	5.00
	指標説明	0.00 4.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 MICE誘致件数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0227
評価年度 令和 3年度
所属 1605
事務事業番号 00723

進捗区分 評価完了
産業観光部農林水産課
生産調整推進対策事業

所属長名 川本 孝是
記入者 大塚 久知

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	029	農林水産業の活性化				
取組の方向性	001	農林水産業の振興				
事務事業	015	生産調整推進対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律					
事業概要	(事業概要) 米穀の需給及び価格の安定を図るため、生産目標の達成と水田の有効利用を推進する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 米の需要が減少する中で、過剰生産が続けば米価の安値販売を助長し、米価の下落に繋がる。 (見直しや改善等の経過) 国からの生産数量目標の提示が終了し、平成30年度から生産者自らの判断で需要に応じた作付をすることとなった。生産調整の重要性は変わらないことから本県では県市農業再生協議会が生産目標を提示し対応している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	各農業者を対象に
目的(何のために)	米の生産目標の達成に向けて、水田利活用の多角的・計画的な水田農業構造を確立するために
手段(どのようなやり方で)	水田収益力強化ビジョンに基づく作物生産や米の生産調整の実施に向け、大津市農業再生協議会を通じて生産者に米の生産目標を示すとともに、生産者への制度の周知・徹底を図ることで
成果(どのような状態にするのか)	米の生産目標の達成及び水田を活用した麦・大豆、加工用米、飼料用米等の本作化を進める

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	21,580	19,492	23,290	23,290	23,290	23,290	23,290
事業費	17,890	16,292	20,090	20,090	20,090	20,090	20,090
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	17,890	16,252	20,043	20,043	20,043	20,043	20,043
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	40	47	47	47	47	47
人件費計	3,690	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
事務・技術(人)	0.45	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

680 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0227
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 事務事業番号 00723 生産調整推進対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-30-05-15-16-00-01-00	生産調整推進対策事業費	産業観光部農林水産課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)米の生産数量	k g	6,010,381.00	5,645,783.00	5,801,000.00	5,744,000.00	5,744,000.00	5,744,000.00	5,744,000.00
		5,864,174.00	5,780,684.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)生産目標数量達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		102.50	97.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	米価の下落を防ぐため、引き続き滋賀県農業再生協議会、大津市農業再生協議会を通じて農業者へ生産目標を提示し、生産目標達成に向けて働きかけていく。併せて、水田収益力強化ビジョンに基づき、麦、大豆、野菜、非主食用米の作付けを進め、農業者の所得安定を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	米の需給及び価格安定を図るためには需要に応じた生産量の確保は重要であるので、引き続き生産目標の達成と、水田の有効活用を推進すること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00723 生産調整推進対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)米の生産数量	kg	6,010,381.00	5,645,783.00	5,801,000.00	5,744,000.00	5,744,000.00	5,744,000.00	5,744,000.00
		5,864,174.00	5,780,684.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	県等から配分され市推進協議会が決定する生産（目標）数量						
(成果)生産目標数量達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		102.50	97.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	目標数量÷実施数量						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0228
 評価年度 令和 3年度
 所属 1605
 事務事業番号 00724

進捗区分 評価完了
 産業観光部農林水産課
 活力あるむらづくり推進事業

所属長名 川本 孝是
 記入者 大塚 久知

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	029	農林水産業の活性化				
取組の方向性	002	地産地消の推進				
事務事業	001	活力あるむらづくり推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法					
事業概要	(事業概要) 本市農業の効率的かつ安定的な農業経営を確立するため、認定農業者や集落営農組織等意欲ある担い手の確保・育成に努め、認定農業者の経営改善計画の実現と多角化・高度化支援策を総合的に実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 国の施策においても、今後は大規模農家に農地を集約していく方針であり、補助金等も認定農業者などの地域の中心経営体を対象としたものを中心となる見込みである。 (見直しや改善等の経過) 農機具更新共済加入促進事業費補助金については、要綱改正により新規の申請は平成26年度までとした。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	認定農業者や集落営農組織等の担い手
目的(何のために)	本市の農業を支える効率的かつ安定的な農業者を確立するため
手段(どのようなやり方で)	農機具更新や農地集積に対する補助
成果(どのような状態にするのか)	地域農業を担っていく認定農業者や集落営農組織等の担い手が育成される

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,867	10,883	12,728	12,887	10,637	12,237	12,987
事業費	11,357	6,483	8,328	8,487	6,237	7,837	8,587
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	9,090	6,200	8,031	8,037	5,787	7,537	8,287
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,180	283	270	270	270	270	270
一般財源	1,087	0	27	180	180	30	30
人件費計	4,510	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400
事務・技術(人)	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0228
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 事務事業番号 00724 活力あるむらづくり推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-30-05-15-19-00-01-00	活力あるむらづくり推進事業費	産業観光部農林水産課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 認定指向農業者支援活動回数	回	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	
		22.00	33.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 認定農業者数	人	31.00	32.00	33.00	34.00	35.00	36.00	37.00	
		29.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 集落営農等担い手の数	団体	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	
		18.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	引き続き、県やJAなどの関係機関と連携し、国の補助事業も活用しながら認定農業者や集落営農組織等意欲ある担い手の確保・育成に努めて行く。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	就農相談を新規就農者の確保に結びつけるとともに、引き続き認定農業者など、多くの担い手を育成するための支援をしていくこと。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0229
評価年度 令和 3年度
所属 1605
事務事業番号 00725

進捗区分 評価完了
産業観光部農林水産課
遊休農地解消対策事業

所属長名 川本 孝是
記入者 大塚 久知

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	029	農林水産業の活性化				
取組の方向性	002	地産地消の推進				
事務事業	002	遊休農地解消対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮に関する法律					

事業概要	(事業概要) 中山間地域等における耕作放棄地の防止と担い手の育成および多面的機能の保持・増進等、農業生産活動を支援する。
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 中山間地域等は、平地地域に比べて不利な耕作条件であることから後継者不足である。高齢化も進んでいることから農地や集落を将来にわたって維持していく対策が必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成12年度から対象地域内で集落協定を締結した集落が5年間ずつ耕作放棄地の発生防止活動等に取り組んでいる。平成27年度からは第4期対策として実施されている。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	指定対象地域の志賀地域・伊香立・仰木・雄琴(千野)・上田上等の各集落において組織され、協定を締結した集落に対して
目的(何のために)	平地と中山間地域等の生産コストの是正措置及び棚田等における耕作放棄地の防止と、農業生産活動への支援のために
手段(どのようなやり方で)	市が協定の認定を行い、組織の構成員が協定の内容に沿って共同で農用地等の管理をはかることで
成果(どのような状態にするのか)	中山間地域等における耕作放棄地の解消および農地等の保全対策、担い手の育成、農業生産性の向上等市域農業の活性化をはかるようにする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	104,578	114,668	138,765	139,475	139,475	139,475	139,475
事業費	97,713	106,318	128,195	128,905	128,905	128,905	128,905
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	69,545	72,541	91,461	91,953	91,953	91,953	91,953
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	28,168	33,777	36,734	36,952	36,952	36,952	36,952
人件費計	6,865	8,350	10,570	10,570	10,570	10,570	10,570
事務・技術(人)	0.65	0.85	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.50	0.50	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0229
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 事務事業番号 00725 遊休農地解消対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-30-05-15-19-00-03-00	遊休農地解消対策事業費	産業観光部農林水産課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 集落協定認定数	協定	27.00	27.00	29.00	31.00	31.00	31.00	31.00
		24.00	24.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 協定締結面積	㎡	5,996,819.00	5,996,819.00	6,800,000.00	6,800,000.00	6,800,000.00	6,800,000.00	6,800,000.00
		4,426,192.00	4,436,212.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 集落協定認定達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		88.88	88.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 協定締結面積達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		73.81	73.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	国の中山間地域等直接支払制度に則って実施している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	実施集落では荒廃農地の発生防止に結びついている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	中山間地域等の農業所得の補償と担い手育成等に役立てられている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	農地が持つ多面的機能の維持が図られている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	本事業は令和2年度より始まった第5期対策に基づき、農業生産活動と荒廃農地の発生・拡大防止を支援しているが、棚田などが持つ農地の多面的機能を大津市の農業の特色として生かすために、傾斜1/20以上の急傾斜地に加えて、傾斜1/100以上の緩傾斜地に対して支援を拡充するなど、より積極的な制度の推進・普及活動を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	引き続き荒廃農地の発生防止を図るとともに、持続可能な大津の農業を実現するため、耕作放棄地の発生を抑制するため、更なる支援を行うこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00725 遊休農地解消対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 集落協定認定数	協定	27.00	27.00	29.00	31.00	31.00	31.00	31.00
	指標説明	特定農山村地域（通常）及び知事特認地域内の取り組み集落数						
(活動) 協定締結面積	m ²	5,996,819.00	5,996,819.00	6,800,000.00	6,800,000.00	6,800,000.00	6,800,000.00	6,800,000.00
	指標説明	中山間地域等直接支払交付金対象農用地の面積（約599.6ha）に対する面積（追加緩傾斜約469.0ha）が全体面積						
(成果) 集落協定認定達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	集落協定認定目標数に対する達成率						
(成果) 協定締結面積達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	協定締結目標面積に対する達成率						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0230
 評価年度 令和 3年度
 所属 1605
 事務事業番号 00729

進捗区分 評価完了
 産業観光部農林水産課
 農地・水・環境保全向上対策事業

所属長名 川本 孝是
 記入者 大塚 久知

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	029	農林水産業の活性化				
取組の方向性	002	地産地消の推進				
事務事業	005	農地・水・環境保全向上対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮に関する法律				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>農業及び農村の基盤となる農地・水・環境の保全と質的向上を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進する必要があるが、現状は、過疎化、高齢化、混住化等の進展に伴う集落機能の低下により、その適切な管理が困難な状況にある。このことから、地域ぐるみでの効果の高い共同活動や向上活動を、一体的かつ総合的に支援する。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>農村地帯の過疎化及び高齢化による集落機能の低下により、食料の安定供給や多面的機能の発揮の基盤となる農地・農業用水等の農業資源の適切な保全管理が困難になりつつある。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成26年度より「多面的機能支払」として新しく施行され、それに伴い新規取組要件が緩和されている。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	環境保全向上対策を実施する活動組織を対象に
目的(何のために)	農業の持続的発展、農地の多面的機能の保全のため
手段(どのようなやり方で)	活動組織が作成した事業計画を市が認定し、取組面積により算定した交付金を交付する。また、実施内容に対する助言及び確認を行う
成果(どのような状態にするのか)	地域共同による農地・農業用水等の農業資源の適正管理や、農地周りの水路等の施設の長寿命化への取組み、水質・土壌等の高度な保全活動等により農村環境の保全向上を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	45,965	45,571	44,104	44,904	46,507	46,807	47,107
事業費	41,047	40,731	39,264	40,064	41,667	41,967	42,267
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	31,176	31,222	30,126	30,727	32,362	32,587	32,812
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	9,871	9,509	9,138	9,337	9,305	9,380	9,455
人件費計	4,918	4,840	4,840	4,840	4,840	4,840	4,840
事務・技術(人)	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0230
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 事務事業番号 00729 農地・水・環境保全向上対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-30-05-15-42-00-10-00	農地・水・環境保全向上対策事業費	産業観光部農林水産課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 共同活動の実施組織数	組織	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	
		28.00	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) 向上活動の実施組織数	組織	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 集落排水が環境基準をクリアした組織数	組織	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	
		14.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	国の多面的機能直接支払制度等に則って実施している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	漏水箇所の補修をするなど効果は上がっている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	非農家も交えた地域ぐるみでの農業資源の適正管理が行われている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	農業の持続的発展と多面的機能の保全等に資する事業である。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き農業環境の適切な維持、改善が図られるよう多面的機能支払制度に取り組むとともに、環境への負荷低減を図る取り組みを進める環境保全型農業を更に推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	環境こだわり農産物の生産拡大を含めて、引き続き事業推進に努め、農業環境の維持・向上を図ること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00729 農地・水・環境保全向上対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)共同活動の実施組織数	組織	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	指標説明	28.00	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		地域資源の適正管理						
(活動)向上活動の実施組織数	組織	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	指標説明	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		農地廻りの施設長寿命化の取り組みや、水・土壌などの高度な保全活動など						
(成果)集落排水が環境基準をクリアした組織数	組織	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00
	指標説明	14.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		農業排水の透視度が30cm以上(透視度計による測定)						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0231
 評価年度 令和 3年度
 所属 1605
 事務事業番号 00737
 進捗区分 評価完了
 産業観光部農林水産課
 森林レクリエーション施設管理運営事業

所属長名 川本 孝是
 記入者 藤原 正明

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	029	農林水産業の活性化				
取組の方向性	001	農林水産業の振興				
事務事業	016	森林レクリエーション施設管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等 大津市立森林キャンプ村条例、ふれあいのもり条例

事業概要
 (事業概要)
 葛川森林キャンプ村、ふれあいのもり（比叡山生活環境保全林）、一丈野生活環境保全林、暮雪山多目的保安林、楊梅の滝生活環境保全林などの森林レクリエーション施設は、森林資源を活用した市民の憩いの場として、毎年多くの利用者に親しまれており、安全かつ快適な施設を提供するために適正な維持管理を実施している。

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し
 (事業を取りまく社会環境)
 近年の都市化により、森林などの自然に親しむ機会が減少している。当該施設は、子ども達の学校行事での利用頻度も高く、自然の中で活動体験ができるレクリエーション施設としての需要は高い。
 (見直しや改善等の経過)
 利用者の安全性や施設の活用頻度を高めるために、平成18年度から森林キャンプ村については指定管理者制度を導入し、管理体制の充実とともに維持管理経費の縮減を図ってきたが、施設の老朽化と利用者の減少から今後のあり方検討のため、令和3年度末をもって休止とした。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	葛川森林キャンプ村や「ふれあいのもり」などの森林レクリエーション施設を
目的(何のために)	市民等に森林を活用した憩いの場を提供するために
手段(どのようなやり方で)	直営、保守管理委託により日常的な維持管理を行うことにより
成果(どのような状態にするのか)	安全かつ、快適な施設を維持し、より一層の利用拡大を図っていく

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	9,243	8,318	12,352	12,352	9,903	9,903	9,903
事業費	6,783	4,318	4,352	4,352	1,903	1,903	1,903
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,783	4,318	4,352	4,352	1,903	1,903	1,903
人件費計	2,460	4,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
事務・技術(人)	0.30	0.50	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

692 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0231
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 事務事業番号 00737 森林レクリエーション施設管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-30-10-05-59-00-01-00	森林レクリエーション施設管理運営費	産業観光部農林水産課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) キャンプ村 利用回数 (泊、日帰り)	回	2,700.00	2,700.00	0.00	1,851.00	3,240.00	3,240.00	3,240.00
		548.00	303.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) キャンプ村 利用回数率	%	100.00	100.00	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		20.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	C
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	手段の見直しが必要であるため		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	D
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	森林キャンプ村における施設の老朽化		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	D
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	森林キャンプ村における利用者の減少		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	C
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	自然に親しむ憩いの施設であり、その有効活用について検討		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	森林キャンプ村については、施設の老朽化及び現在の利用者ニーズに答えられていないことから一旦休止とし、今後のあり方について検討しているところである。地元の要望を踏まえ、民間資金及びノウハウを活用することで新しい森林キャンプ村としての施設整備を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	森林キャンプ村について、現代の利用者ニーズに応えるべく、民間のノウハウを活用しながら、その整備に取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00737 森林レクリエーション施設管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) キャンプ村 利用回数(泊、日帰り)	回	2,700.00	2,700.00	0.00	1,851.00	3,240.00	3,240.00	3,240.00
	指標説明	548.00	303.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) キャンプ村 利用回数率	%	100.00	100.00	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	20.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0232
評価年度 令和 3年度
所属 1605
事務事業番号 00739

進捗区分 評価完了
産業観光部農林水産課
間伐促進等森林整備事業

所属長名 川本 孝是
記入者 藤原 正明

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	015	自然環境の保全				
取組の方向性	002	里地里山等の保全・再生				
事務事業	002	間伐促進等森林整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	滋賀県造林事業補助金交付要綱・大津市造林事業等補助金交付要綱					

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>昭和30～40年代を中心に行われた拡大造林の結果、現在、森林の資源が確立されつつある中、その三割程度が間伐等の保育を要する期間に入った森林となっている。そのため、基盤となる作業道等の整備と併せて、緊急的に間伐等を総合的かつ計画的に実施し、搬出された間伐材の有効利用を図る。森林整備にあたっては、事業を実施した森林組合に対し、補助金を交付する。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>海外からの安価な輸入木材により国産材の価格が低迷し、さらに、林業従事者の減少や森林所有者の施業意欲の低下により、林業の採算性が極めて低いことから、森林資源が活用されずに放置されている状態である。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>森林資源の充実に伴って、保育期に入った森林の間伐の必要性は高くなることから、間伐材の搬出利用を促進して持続的な林業経営ができるように支援を行ってきた。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	保育期にある森林を対象に
目的(何のために)	効率的かつ適正な森林整備を進めることにより林業の振興を図るため
手段(どのようなやり方で)	森林組合をはじめとする森林所有者が実施する間伐等の森林施業に対して補助金での支援を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	国土の保全及び水源かん養等の多面的機能を発揮できる森林にするとともに、切り捨て間伐から搬出間伐へ転換を図り、大津産木材の生産量を増加させる

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,641	5,220	6,617	9,417	9,417	9,417	9,417
事業費	6,001	3,620	3,417	6,217	6,217	6,217	6,217
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,001	3,620	3,417	6,217	6,217	6,217	6,217
人件費計	1,640	1,600	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
事務・技術(人)	0.20	0.20	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0232
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 事務事業番号 00739 間伐促進等森林整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-30-10-05-67-00-03-00	間伐促進等森林整備事業費	産業観光部農林水産課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)間伐実施面積	h a	131.00	131.00	58.00	58.00	58.00	58.00	58.00	
		76.00	38.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)森林施業の実施面積	h a	207.00	207.00	82.00	82.00	82.00	82.00	82.00	
		100.00	54.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)間伐率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		58.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)森林施業率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		48.00	26.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	林業の活性化及び放置林の防止により国土の保全等を図っている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	林業経営の一助となるも資源活用や経営基盤強化に至っていない。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	C
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	効率的であるものの、人員不足や補助規模の影響が大きい。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	林業活性化及び森林の多面的機能発揮により自然環境保全に寄与		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	事業評価の指標に係る数値については、最近の実績に基づくよう見直しを図った。今後も間伐を促進、大津産木材の生産増加を図るため、林業従事者に対して、さらなる支援のあり方を検討していく。さらにその利用を高めるために、関係者と調整していく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	林業の活性化を図り、多面的機能を発揮できる森林づくりを推進するため、今後も必要な造林事業の支援を行っていくこと。		

事務事業評価シート（1/2）

697 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0233
評価年度 令和 3年度
所属 1605
事務事業番号 00743

進捗区分 評価完了
産業観光部農林水産課
水産業振興事業

所属長名 川本 孝是
記入者 藤原 正明

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	029	農林水産業の活性化				
取組の方向性	001	農林水産業の振興				
事務事業	002	水産業振興事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市補助金等交付規則、内水面振興事業補助金交付基準					

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>琵琶湖漁業の再生を目指して県や関係団体と連携しながら、外来魚やカワウの駆除、水草の除去、湖底の耕うんなどの事業を支援している。これにより、湖魚の成育環境の改善に繋がり、漁獲量の増加によって漁業経営の安定化を図っていく。また、市内の三つの河川漁業協同組合が実施している鮎、溪流魚の放流事業に対して補助金を交付し、遊漁者の増加による河川漁業の振興を図る。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>琵琶湖においては、外来水草の繁茂による水産物の生育環境悪化、外来魚やカワウによる食害等の影響により漁獲量が減少していることから、漁業経営に影響が出ている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>県や大津市水産振興対策協議会と連携しながら、漁場環境の改善、水産資源の増殖の取り組みにより漁業経営の安定化への支援を行っている。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	漁業協同組合等の漁業者に対して
目的(何のために)	地場産業である琵琶湖や河川の水産業振興のために
手段(どのようなやり方で)	琵琶湖湖産水産物の消費拡大やセタジミの増殖の支援、内水面漁業での鮎や溪流魚の放流に係る経費の補助を行うことにより
成果(どのような状態にするのか)	漁場環境を高めるとともに、漁獲量の増加と湖魚の価値を高めて漁業経営の安定を図っていく

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,950	4,197	4,819	5,402	5,402	5,402	5,402
事業費	490	997	1,619	2,202	2,202	2,202	2,202
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	26	50	111	111	111	111	111
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	464	947	1,508	2,091	2,091	2,091	2,091
人件費計	2,460	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
事務・技術(人)	0.30	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0233
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 事務事業番号 00743 水産業振興事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-30-15-05-74-00-01-00	水産振興事業費	産業観光部農林水産課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 組合員数	人	540.00	540.00	345.00	345.00	345.00	345.00	345.00
		345.00	338.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 鮎、溪流魚放流量	kg	0.00	0.00	1,819.00	1,819.00	1,819.00	1,819.00	1,819.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 漁獲量	kg	0.00	0.00	114,755.00	114,755.00	114,755.00	114,755.00	114,755.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 河川遊魚(販売数)	人	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00
		354.00	1,143.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	琵琶湖漁業の再生のため財政的支援は妥当		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	放流事業や遊漁事業の再開により一昨年と比較して成果は上昇		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	河川漁業振興に係る稚魚放流について豪雨等の影響を受けやすい。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	各漁協事業の支援を継続することで貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	事業評価の指標に係る数値については、最近の実績に基づくよう見直しを図った。今後も水産資源の増殖のためには水産生物の生育環境の改善が必要であることから、漁場の環境改善事業への支援とともに、国や県に対する事業推進のための要望も引き続き行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き放流事業の支援を行うとともに、水産資源の回復に向け国や県に漁場環境の改善を要望していくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00743 水産業振興事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 組合員数	人	540.00	540.00	345.00	345.00	345.00	345.00	345.00
		345.00	338.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		大津市内漁業協同組合組合員数。R4以降、目標値をそれまでのH25実績からR2実績に見直しを図った。						
(活動) 鮎、溪流魚放流量	kg	0.00	0.00	1,819.00	1,819.00	1,819.00	1,819.00	1,819.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		葛川、勢多川、大戸川漁協における鮎及び溪流魚の放流量						
(成果) 漁獲量	kg	0.00	0.00	114,755.00	114,755.00	114,755.00	114,755.00	114,755.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		湖魚の漁獲量						
(成果) 河川遊魚(販売数)	人	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00
		354.00	1,143.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		大戸川、葛川漁協の鮎遊魚客数						
(活動) 鮎、溪流魚放流事業経費	千円	7,725.00	7,725.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		4,347.00	6,669.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		大戸川、勢多川、葛川漁協における放流事業経費。水産資源の回復といった観点から、R4年度より実際の放流量に見直しを図った。						
(成果) セタシジミ漁獲量	kg	8.80	8.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1.00	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		セタシジミ漁場管理事業協業体による目標設定及び実績漁獲量。漁獲量の増加の観点から、R4年度より外来魚を除いた湖魚の漁獲量に見直しを図った。						

事務事業評価シート（1/2）

700 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0234
評価年度 令和 3年度
所属 1605
事務事業番号 00745

進捗区分 評価完了
産業観光部農林水産課
地産地消推進事業

所属長名 川本 孝是
記入者 大塚 久知

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	003	安心・快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします		
施策	029	農林水産業の活性化		
取組の方向性	002	地産地消の推進		
事務事業	008	地産地消推進事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	
根拠法令等	大津市地産地消推進事業費補助金交付要綱			
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>「農林水産業の振興」と「農林漁業者の所得の安定」を図るため、県下最大の消費地という強みを活かし、安全・安心な農林水産物の供給拡大に取り組みとともに、大学連携などにより地域が行う付加価値の高い商品開発を支援することにより、地産地消及び6次産業化を推進する。</p>			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>安心・安全で鮮度の高い地場産野菜だけでなく、それらを供給する直売所や生産者にも注目が集まっている。 (見直しや改善等の経過)</p> <p>平成29年度より人件費補助である営農指導強化対策事業補助金を見直し、地産地消推進事業補助へと振り替えを行った。</p>			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	J A及び農業団体（グループ、営農集落等）
目的(何のために)	水稻に特化している農業の現状から、バランスのとれた農業振興を図り、新鮮な地場産野菜、花きなどの安定供給を促進する
手段(どのようなやり方で)	地元農産物の生産支援と販売活動支援や、大津市野菜園芸出荷協議会等の組織の活動支援
成果(どのような状態にするのか)	直売所出荷量を増加する

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	11,643	7,405	10,301	11,101	11,101	11,101	11,101
事業費	4,162	4,475	5,991	6,791	6,791	6,791	6,791
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,162	4,475	5,991	6,791	6,791	6,791	6,791
人件費計	7,481	2,930	4,310	4,310	4,310	4,310	4,310
事務・技術(人)	0.80	0.25	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.30	0.30	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0234
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 事務事業番号 00745 地産地消推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-30-05-15-42-00-17-00	地産地消推進事業費	産業観光部農林水産課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)直売所出荷 農家数	人	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00
		590.00	400.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)直売所販売 額	百万円	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00
		268.00	322.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	新鮮な地場産農産物を求める消費者ニーズは高まっている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	指標の出荷会員数は減少したが、販売額はやや増加した。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	効果的な産地形成や機械化一貫体制の確立を図っている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	農業振興だけでなく、食育や地域活性化につながる事業である。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	地産地消と6次産業化の取組みに対する補助を行う。特に、重点品目（キャベツ、玉ねぎ、ジャガイモ、にんじん、ブロッコリー）の生産拡大と6次産業化による新規加工品開発について重点的に取り組む。また、地産地消の推進手段として学校給食への大津市産農産物の供給拡大を図るとともに、新たな販路拡大にも努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	これまでの学校給食や直売所への供給量の増加に加えて、新たな販路拡大を進めることにより、生産者と消費者とのつながりを様々な形で創出していくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1605 産業観光部農林水産課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00745 地産地消推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)直売所出荷農家数	人	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00
	指標説明	590.00 400.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 市内直売施設への出荷会員農家の人数						
(成果)直売所販売額	百万円	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00
	指標説明	268.00 322.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 市内直売施設で販売された金額						

事務事業評価シート（1/2）

703 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0235
評価年度 令和 3年度
所属 1605
事務事業番号 02370

進捗区分 評価完了
産業観光部農林水産課
農業体験推進事業

所属長名 川本 孝是
記入者 大塚 久知

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	029	農林水産業の活性化				
取組の方向性	002	地産地消の推進				
事務事業	011	農業体験推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市たんぼのこ体験事業補助金交付基準					

事業概要	<p>(事業概要) 子ども達の農業体験活動など農業振興に関わる取り組みを推進することで、食育も含めた農業への理解を深めてもらうために事業を実施する。</p>				
------	--	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 食育への関心が強まっており、小学生に農業を体験させる必要性が広まってきている。 (見直しや改善等の経過) 各小学校ごとに様々な活動をしており、地元の伝統作物を用いた農業体験等独自性の強い活動も見受けられるようになった。</p>				
----------------------	--	--	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	たんぼのこ推進協議会（各小学校）に対して				
目的(何のために)	子ども達に、自らが「作り」「育て」「収穫し」「食べる」という一貫した農業体験学習の場を提供することにより、農業への関心を高めるとともに、生命や食べ物の大切さを学んでもらうため				
手段(どのようなやり方で)	協議会が取り組む農業体験事業等を支援する				
成果(どのような状態にするのか)	農業体験のある子どもを増やし、農業への理解を広げる				

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	3,552	3,456	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
事業費	1,912	1,856	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,410	1,308	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	502	548	590	590	590	590	590
人件費計	1,640	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
事務・技術(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0235
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 事務事業番号 02370 農業体験推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-30-05-15-42-00-02-00	農業体験推進事業費	産業観光部農林水産課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)たんぼのこ取り組み小学校数	校	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	
		36.00	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)たんぼのこ取り組み小学校達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	97.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	農業体験を通じて将来的な人材育成にも効果がある。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	自分達で育てた農産物を食べることで、農業への関心が湧く。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	各小学校が人数や環境に応じて取り組み内容を決められる。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	農業体験の場を提供することで、農業や食育の推進につながる。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	自らが「作り」「育て」「食べる」という一貫した農業体験学習の場を提供することで、農業への関心を高め、生命や食物の大切さを学ぶ良い機会になっている。引き続き、取り組みを充実するメニューや実施可能な取り組みの事例を提案していくことで、別事業で農業体験学習に取り組む小学校を除いた市内の全ての小学校に取り組んでもらうよう働きかけていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	引き続き、小学生の食育と農業への関心が高まるように取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1605 産業観光部農林水産課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02370 農業体験推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)たんぽのこ取り組み小学校数	校	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
	指標説明	36.00	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
たんぽのこ体験事業に取り組んだ小学校の数								
(成果)たんぽのこ取り組み小学校達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	100.00	97.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
実績/目標×実績								

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0236
評価年度 令和 3年度
所属 1605
事務事業番号 02371

進捗区分 評価完了
産業観光部農林水産課
鳥獣害対策強化事業費

所属長名 川本 孝是
記入者 徳村 泰弘

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	029	農林水産業の活性化				
取組の方向性	001	農林水産業の振興				
事務事業	020	鳥獣害対策強化事業費				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>①職員による被害調査、パトロール等予防・警戒活動及び追い払い等緊急活動、自己防衛対策の啓発及び支援</p> <p>②市民からの捕獲要請に応じた直営による有害鳥獣駆除活動（サル、シカ、イノシシ、カラス、ドバト）</p> <p>③猟友会による有害鳥獣駆除活動（業務委託）</p> <p>④特別措置法による有害鳥獣被害の軽減</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>生活環境の変化により、サル、シカ、イノシシの被害は農作物だけでなく市民生活に対しても出ている。また、アライグマ、ハクビシンなどの外来獣による被害も近年、発生している。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>関係機関との連携と防護柵等の防除事業の拡大を図るため、平成20年度から大津市有害鳥獣被害対策協議会を立ち上げ、また隣接市と連携を図るため、平成23年度から滋賀県西部南部地域被害対策協議会を立ち上げた。</p>				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	猿、鹿、猪、外来獣（アライグマ、ハクビシン）等の有害鳥獣を対象
目的(何のために)	農林水産業の振興及び市民生活の安全性向上
手段(どのようなやり方で)	猟友会と連携し檻や銃器による捕獲・駆除を推進
成果(どのような状態にするのか)	農作物被害及び生活環境被害の防止・軽減を図る

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		37,470	33,458	36,330	37,095	37,095	37,095	37,250
事業費		25,242	22,684	25,556	26,321	26,321	26,321	26,476
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		12,636	14,687	15,089	15,089	15,089	15,089	15,089
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		12,606	7,997	10,467	11,232	11,232	11,232	11,387
人件費計		12,228	10,774	10,774	10,774	10,774	10,774	10,774
事務・技術(人)		0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		1.98	1.54	1.54	1.54	1.54	1.54	1.54
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0236
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 事務事業番号 02371 鳥獣害対策強化事業費

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-30-10-05-65-00-03-00	鳥獣害対策強化事業費	産業観光部農林水産課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)有害鳥獣駆除 市許可数	頭、羽	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	
		8,430.00	8,105.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)ニホンジカ	頭	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	
		1,390.00	1,454.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)イノシシ	頭	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	
		354.00	161.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き、有害鳥獣駆除を市内猟友会に委託することで、生息頭数を減少させることができ、被害の軽減となるため、捕獲事業は継続して実施していくことが不可欠である。一方で、県に対して捕獲が困難な地域である高標高域(奥山)での捕獲事業について、広域的に実施するよう要望を行う。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き、有害鳥獣の生息数を減少させることが不可欠であることから、着実な防除対策を行うこと。一方で、広域での実施等を県に対し要望すること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1605 産業観光部農林水産課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02371 鳥獣対策強化事業費

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)有害鳥獣駆除市許可数	頭、羽	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
	指標説明	8,430.00	8,105.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		鳥獣被害に伴う駆除申請に対する市許可数						
(成果)ニホンジカ	頭	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00
	指標説明	1,390.00	1,454.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		ニホンジカの捕獲数						
(成果)イノシシ	頭	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
	指標説明	354.00	161.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		イノシシの捕獲数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0237
評価年度 令和 3年度
所属 1606
事務事業番号 01078

進捗区分 評価完了
産業観光部田園づくり振興課
市単土地改良補助事業

所属長名 森口 直樹
記入者 山岸 了

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	029	農林水産業の活性化				
取組の方向性	001	農林水産業の振興				
事務事業	006	市単土地改良補助事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市土地改良事業等補助金交付要綱					
事業概要	<p>(事業概要) 農業経営の合理化、生産性の向上並びに田園環境の保全に資するため、農業組合及び土地改良区が事業主体となり実施する、農業用排水路等の土地改良施設の改良事業に対し補助を行うもの。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 農業用施設の老朽化及び施設を管理する農業従事者の高齢化や減少が進んでおり、農業用施設の維持管理等の負担が大きくなり、安定的な農業経営が困難な状況となっている。 (見直しや改善等の経過) 農業振興を推進するため、農業従事者のニーズに柔軟に応えられるよう、大津市土地改良事業等補助金交付要綱の見直しを行っている。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	受益者（土地改良区等）					
目的(何のために)	農業経営の合理化、生産性の向上並びに田園環境の保全に資するため。					
手段(どのようなやり方で)	申請者が実施する農業用施設の改良・補修工事に対する補助。					
成果(どのような状態にするのか)	農業施設の維持管理経費の軽減による、農業経営の合理化、生産性の向上並びに田園環境の保全を図る。					

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,138	6,182	9,162	9,999	10,713	10,713	10,713
事業費	2,736	2,858	5,776	6,613	7,327	7,327	7,327
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,736	2,858	5,776	6,613	7,327	7,327	7,327
人件費計	3,402	3,324	3,386	3,386	3,386	3,386	3,386
事務・技術(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0237
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1606 産業観光部田園づくり振興課
 事務事業番号 01078 市単土地改良補助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-30-05-25-28-00-04-00	市単土地改良事業補助金	産業観光部田園づくり振興課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 整備箇所数	箇所	0.00	0.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 受益面積	h a	0.00	0.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) 整備箇所数	箇所	10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		7.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 受益面積	h a	200.00	200.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		35.50	60.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	受益者からの事業計画書を精査し、要綱に基づき実施している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	整備箇所により受益面積にばらつきがあるため		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	適正な管理を目的とする受益者施工工事への補助であり効率は良い		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	農地の保全、農業の持続的発展、食料の安定供給に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	農業従事者の農業用施設の維持管理にかかる負担を軽減することにより、継続的な農地の保全や生産性の向上を図る事業であり、今後も継続しなければならない事業である。 なお、定量評価の評価指標については、国・県の補助を活用し、または市の単独補助を用いて対応する整備事業の総数、並びに整備事業により効果が発現する受益面積に修正する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	農作物の生産のみならず、農地が有する公益的機能の維持のためにも、生産基盤の目標に向けた整備を図る必要がある。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1606 産業観光部田園づくり振興課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01078 市単土地改良補助事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名		単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)整備箇所数	箇所		0.00	0.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
	指標説明	土地改良事業計画概要書に基づく整備箇所数(国・県の補助、または大津市の単独補助を用いて対応する事業の総数)以降理由:同じ目的で実施する国・県・市の補助事業を合計し計上する方が現状に即しているため)							
(成果)受益面積	ha		0.00	0.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
	指標説明	国・県の補助、または大津市の単独補助を用いて対応する整備事業により事業効果が発現する受益面積(移行理由:同じ目的で実施する国・県・市の補助事業を合計し計上する方が現状に即しているため)							
(活動)整備箇所数	箇所		10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	土地改良事業計画概要書に基づく整備箇所数(令和3年度までは、大津市の単独補助のみを用いて対応する事業の総数で評価)							
(成果)受益面積	ha		200.00	200.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	整備済箇所に基づく受益面積(令和3年度までは、大津市の単独補助のみにより整備が進められた受益面積で評価)							

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0238
評価年度 令和 3年度
所属 1606
事務事業番号 02263

進捗区分 評価完了
産業観光部田園づくり振興課
農業体質強化基盤促進事業

所属長名 森口 直樹
記入者 山岸 了

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	029	農林水産業の活性化				
取組の方向性	001	農林水産業の振興				
事務事業	011	農業体質強化基盤促進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	農業水路等長寿命化・防災減災事業実施要項並びに同要領、大津市土地改良事業等補助金交付要綱				
事業概要	<p>(事業概要) 農業水利施設の長寿命化や、低下した機能の回復・防災力の向上などを行うことにより、様々なリスクを低減し、それにより農業の持続的な発展を図ることを目的に、国の補助制度を活用し補助を行うもの。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 農業水利施設を管理する農業従事者の減少や高齢化によって、施設を健全な状態に保つことが困難な状況となっている。また、流下能力を超えるゲリラ豪雨の発生率が高まっていることから水利施設及び農地の被災確率も高まっている。 (見直しや改善等の経過) 補助対象となる土地改良事業で、事業費が2,000千円以上の事業について採択申請し、一般財源の支出を抑えている。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	受益者（土地改良区等）
目的(何のために)	農地や農業用施設を健全な状態に保つとともに、更なる省力化やコスト低減を実現するため。
手段(どのようなやり方で)	土地改良区等が実施する長寿命化や機能回復を目的とした、施設の改修に要する費用に対する補助。
成果(どのような状態にするのか)	水利施設の長寿命化、維持管理コストの低減、施設の老朽化に起因する突発事故リスクの低減を図り、農業生産の基盤の整備を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,044	3,724	4,639	4,883	4,883	4,883	4,883
事業費	560	480	1,333	1,577	1,577	1,577	1,577
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	560	480	1,333	1,577	1,577	1,577	1,577
人件費計	3,484	3,244	3,306	3,306	3,306	3,306	3,306
事務・技術(人)	0.41	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0238
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1606 産業観光部田園づくり振興課
 事務事業番号 02263 農業体質強化基盤促進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-30-05-25-21-00-01-00	農業体質強化基盤促進事業費	産業観光部田園づくり振興課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 整備箇所数	箇所	0.00	0.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 受益面積	h a	0.00	0.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 整備箇所数	箇所	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 受益面積	h a	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		36.40	11.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価項目		評価の観点				基準				評価	
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である								A	
			B	ほぼ妥当である									
C	あまり妥当ではない												
D	妥当ではない												
評価理由		受益者からの事業計画書を精査し、要綱に基づき実施している											
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている								B	
			B	やや上がっている									
C	あまり上がっていない												
D	上がっていない												
評価理由		整備箇所により受益面積にばらつきがあるため											
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である								A	
			B	やや効率的である									
C	あまり効率的でない												
D	効率的でない												
評価理由		国庫補助を併用しており、市の歳出の抑制効率は高い											
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している								A	
			B	やや貢献している									
C	あまり貢献していない												
D	貢献していない												
評価理由		農地の保全、農業の持続的発展、食料の安定供給に貢献している											
評価理由													

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	国の補助制度を活用し、水利施設の長寿命化や、低下した機能を回復し、突発事故リスクの低減することで、安定的な農業経営を支え豊かな農村を維持・継承するものであり、今後も継続しなければならない事業である。 なお、定量評価の評価指標については、国・県の補助を活用し、または市の単独補助を用いて対応する整備事業の総数、並びに整備事業により効果が発現する受益面積に修正する。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	農業用施設の長寿命化や維持管理の省力化に資するため、国の制度を活用し目標に向けて推進する必要がある。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0239
評価年度 令和 3年度
所属 1609
事務事業番号 00717

進捗区分 評価完了
産業観光部公設地方卸売市場管理課
集荷奨励特別資金貸付事業

所属長名 畑先 益男
記入者 堀内 陽介

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011 経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	028 商工業の振興				
取組の方向性	002 地域産業の承継				
事務事業	013 集荷奨励特別資金貸付事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象		主な取組区分		対象外
根拠法令等	集荷奨励特別資金貸付要綱				
事業概要	(事業概要) 卸売業者に対し経営資金を貸し付けし、安定した集荷の確保と品揃えの充実を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年、流通構造の変化に伴う市場経由率の低下や小売形態の変化により、一般的には市場外流通が増加しつつある。 (見直しや改善等の経過) 令和2年度から成果目標の指標として、卸売業者の前年度取扱高数量に過去5年間の平均伸び率を乗じた値を目標値としている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	青果部卸売業者に
目的(何のために)	卸売業者の集荷に必要な資金力を強化するため
手段(どのようなやり方で)	集荷奨励特別資金の無利子による貸し付けを行い
成果(どのような状態にするのか)	安定した集荷の確保と品揃えの充実を図ることで、市場業務の円滑化と市民生活の向上に寄与する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	50,328	50,320	50,320	50,320	50,320	50,320	50,320
事業費	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
人件費計	328	320	320	320	320	320	320
事務・技術(人)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0239
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1609 産業観光部公設地方卸売市場管理課
 事務事業番号 00717 集荷奨励特別資金貸付事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
24-05-05-10-21-00-01-00	集荷奨励特別貸付金	産業観光部公設地方卸売市場管理課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)集荷奨励特別資金貸付金額	千円	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
		50,000.00	50,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)青果物市場取扱高数量	t	29,081.00	28,500.00	30,800.00	31,700.00	32,600.00	33,500.00	34,500.00
		27,747.00	29,908.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	当該事業は、卸売業者が行う集荷の経営資金として有効に活用されている。昨今の著しい気候変動は、青果物の収穫に多大な影響を与えており、全国の市場間での集荷競争が激しくなる中、令和3年度も安定した集荷を実現することができた。今後も安定した集荷の確保と豊富な品揃えを維持するために必要不可欠であることから、引き続き現状のまま継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	本事業は、青果卸売業者の安定集荷と豊富な品揃えの促進に有効である。今後も仲卸業者や売買参加者のニーズに対応した集荷や販売を実現するため、当面継続して実施していく必要があると判断する。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0240
 評価年度 令和 3年度
 所属 1609
 事務事業番号 00718

進捗区分 評価完了
 産業観光部公設地方卸売市場管理課
 市場協会等運営補助事業

所属長名 畑先 益男
 記入者 小畑 圭介

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	028	商工業の振興				
取組の方向性	002	地域産業の承継				
事務事業	014	市場協会等運営補助事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市補助金等交付規則、大津市公設地方卸売市場運営補助金等交付基準					
事業概要	(事業概要) 卸売市場の入場業者で組織する団体の健全な運営及び市場活性化推進事業において市場発展の促進のため、補助金を交付する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 大型店舗の進出に伴う小売店の減少等の流通構造が変化している。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度の「市場の朝市」を中止した。今後、感染状況が落ち着き外食や旅行への行動制限の緩和による事業実施状況の変化や、感染予防対策の必要性など社会情勢の動きにも注視していく。 (見直しや改善等の経過) 令和2年度に補助金額を実績に応じて見直しを行った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	入場業者で組織する各種団体に対し
目的(何のために)	市場発展の促進に資するために
手段(どのようなやり方で)	団体運営補助金及び活性化推進事業補助金の交付を行い
成果(どのような状態にするのか)	健全な運営と市場のさらなる活性化を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,285	6,385	6,605	6,605	6,605	6,605	6,605
事業費	5,793	5,905	6,125	6,125	6,125	6,125	6,125
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,793	5,905	6,125	6,125	6,125	6,125	6,125
人件費計	492	480	480	480	480	480	480
事務・技術(人)	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0240
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1609 産業観光部公設地方卸売市場管理課
 事務事業番号 00718 市場協会等運営補助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
24-05-05-10-26-00-01-00	市場協会等運営補助金	産業観光部公設地方卸売市場管理課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 補助金額	千円	6,425.00	6,125.00	6,125.00	6,125.00	6,125.00	6,125.00	6,125.00
		5,793.00	5,906.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 交付団体数	数	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		3.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 「市場の朝市」の来場者数	人	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 一般廃棄物処理量	t	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		134.20	200.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	全ての入場業者が入会する市場協会等へ補助しており妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	朝市は中止したが自主事業のほか感染予防品の購入に充当された		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	効率性向上のため補助金一元化の可否を関係者と協議検討の必要有		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	市場発展の促進に加え場内のコロナ感染拡大防止にも貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和2年度以降、それまで補助対象事業の中心となっていた「市場の朝市」が中止となり、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのマスクや消毒液の購入費用を補助することとした。今後、感染状況が落ち着き外食や旅行への行動制限が緩和されればコロナ禍以前の状況に戻ることも想定されることから市場取引の動向を注視していく。また事務の効率化のため、現在は市場協会を含む4団体に支出している市場活性化推進事業補助金の交付先を今後、市場協会に一元化することの可否について検討するとともに市場協会の役割を踏まえ、補助事業の内容についても相手方と協議していくこととする。 なお、本事業については市場の健全な運営とさらなる活性化に加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止による食品流通の安定化に大きな役割を果たしていることから継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	卸売市場は生産者と消費者を結ぶ重要な食品流通の拠点施設であり本市を中心に88万人の食を支えている。令和2年度からは本格的に新型コロナウイルスが猛威を振ったが、入場業者の皆さんが最大限の感染防止対策を講じ、営業を停止することなくその役割を果たしてきた。 また、コロナ禍以前の状況に戻れば「市場の朝市」をはじめとする一般市民向けのイベント開催費用も補助することを見越している。 したがって、本事業については市場の健全な運営とさらなる活性化に加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止による食品流通の安定化に大きな役割を果たしていることから継続する必要がある。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1609 産業観光部公設地方卸売市場管理課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00718 市場協会等運営補助事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)補助金額	千円	6,425.00	6,125.00	6,125.00	6,125.00	6,125.00	6,125.00	6,125.00
	指標説明	5,793.00	5,906.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		補助金額合計（各団体における事業費、会議費、事務費等）						
(活動)交付団体数	数	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	指標説明	3.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		交付した団体数						
(成果)「市場の朝市」 の来場者数	人	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00
	指標説明	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		「市場の朝市」の年間来場者数						
(成果)一般廃棄物処理 量	t	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
	指標説明	134.20	200.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		市場内の年間一般廃棄物処理量						